

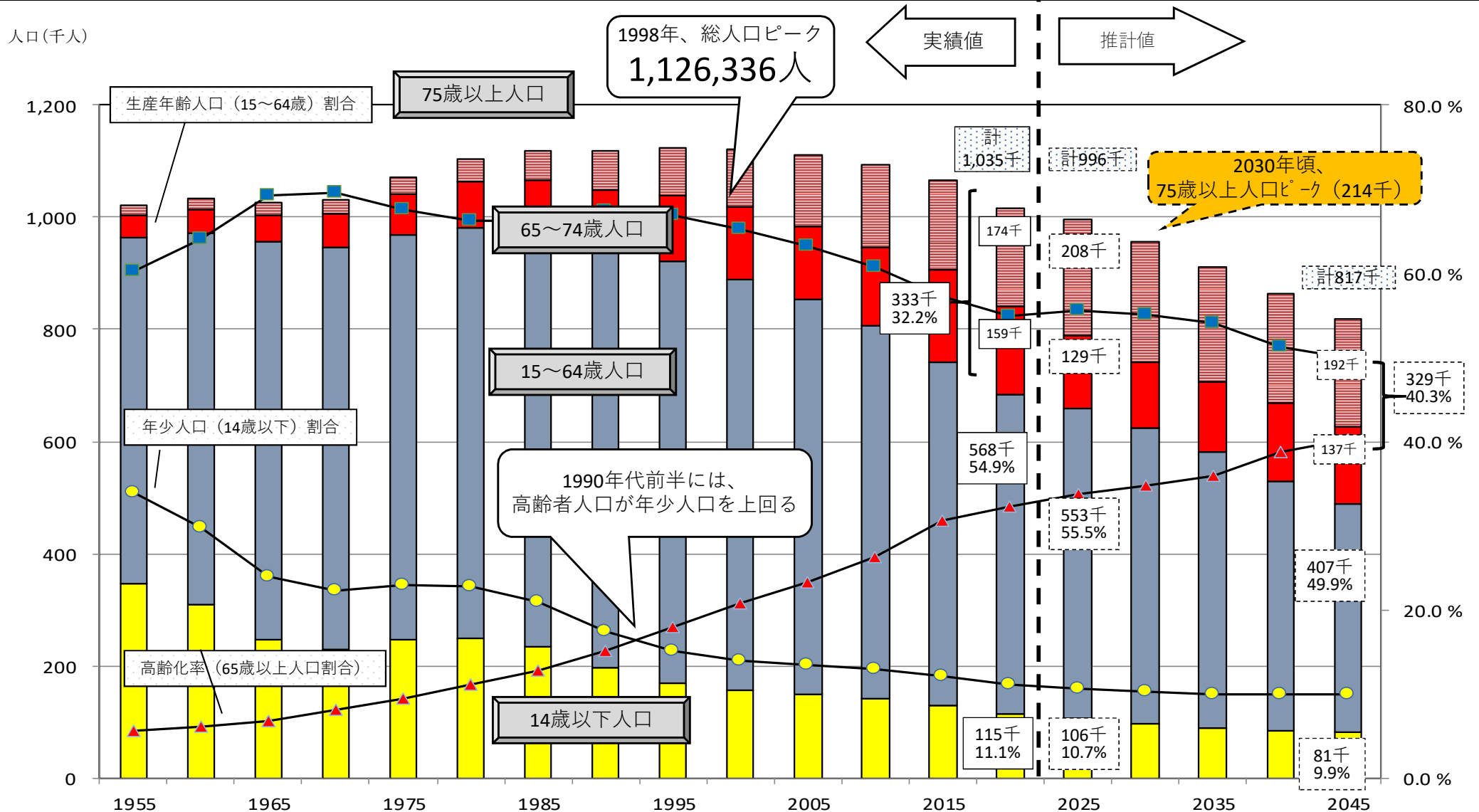
本県におけるがんの現状・取組み について

令和5年10月25日開催
「令和5年度第1回 富山県がん対策推進協議会・第2回 富山県がん対策推進協議会がん診療体制部会」資料

富山県の人口減少及び少子高齢化の進行

- 富山県の人口は、1998(平成10)年にピークを迎えて以降、減少が続いている。
- 今後も人口減少は続くが、高齢化率は上昇すると見込まれている。
- 医療・介護ニーズの高い75歳以上人口は、2030年頃にピークを迎える見込み。

【2020年→2045年】
 総人口 : ▲218千人(▲21%)
 高齢者人口 : ▲4千人(▲1%)
 15~64歳人口 : ▲161千人(▲28%)

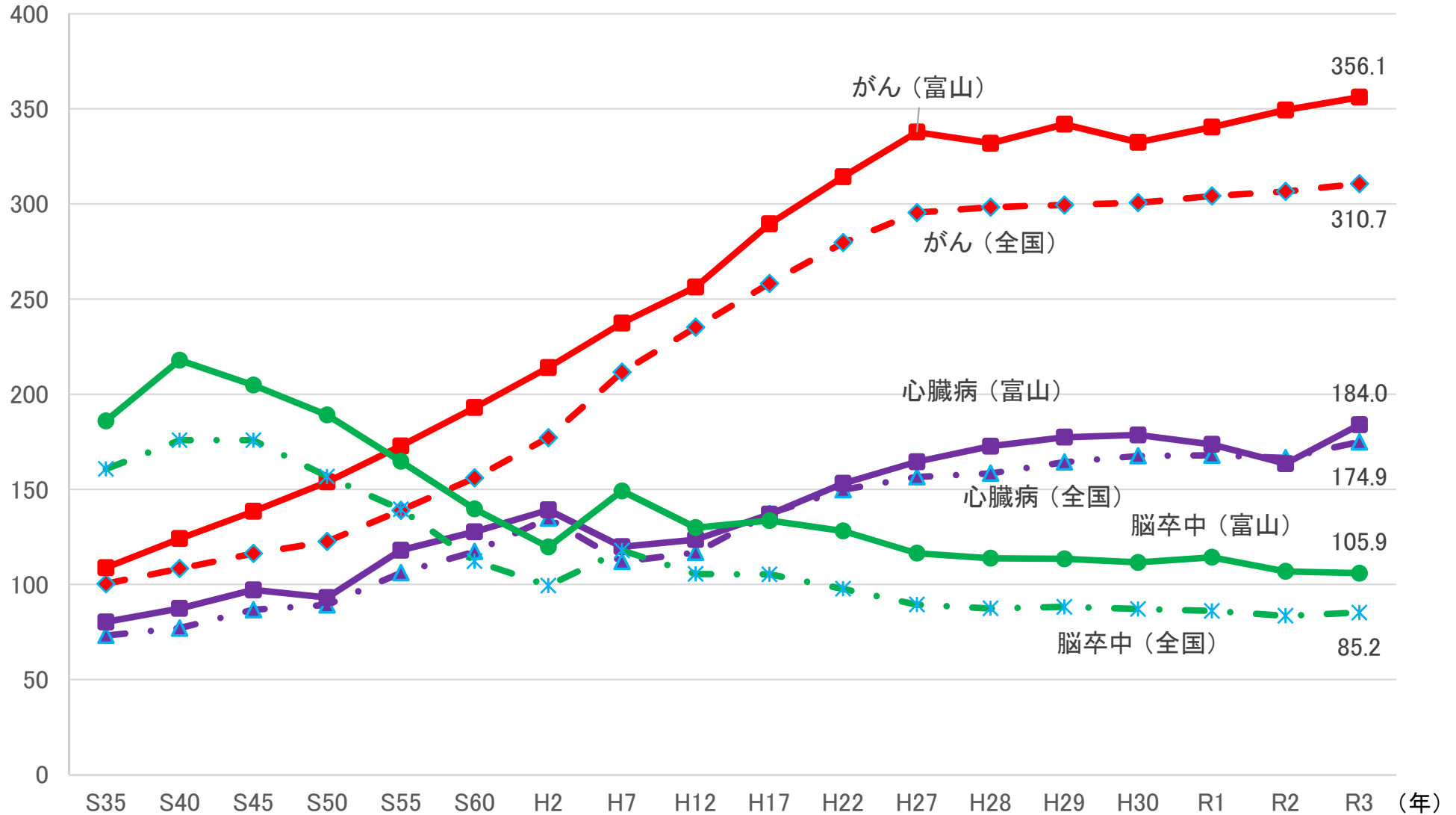


【資料】実績値：総務省統計局「国勢調査」(年齢区分別人口は年齢・国籍不詳をあん分した人口)による
 推計値：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(平成30(2018)年推計)」より抜粋。

【参考】高齢者人口ピーク：2042年(3,935万人)
 全国 75歳以上人口ピーク：2054年(2,449万人)

富山県の主要死因別にみた粗死亡率(人口10万対)の推移

○富山県のがんによる死亡率(人口10万対)は、昭和54年に脳卒中を超え、**死因の第1位**となって以来、その後増加している。

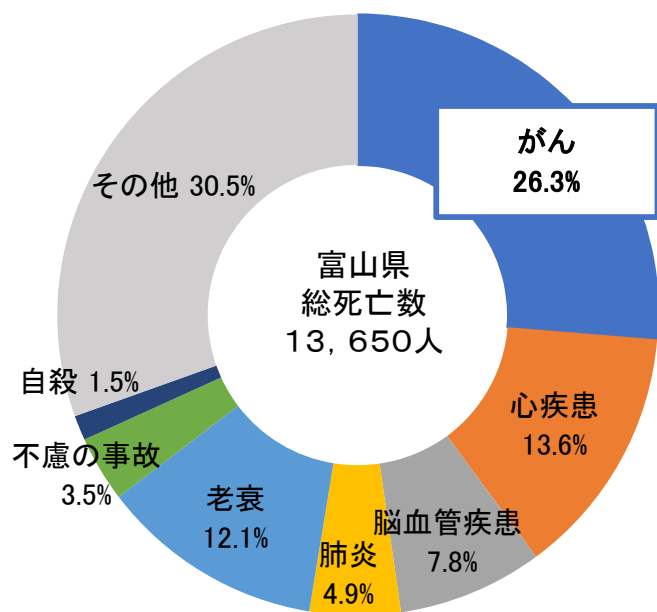


出典：厚生労働省「人口動態統計」

富山県の死亡原因におけるがんの割合①

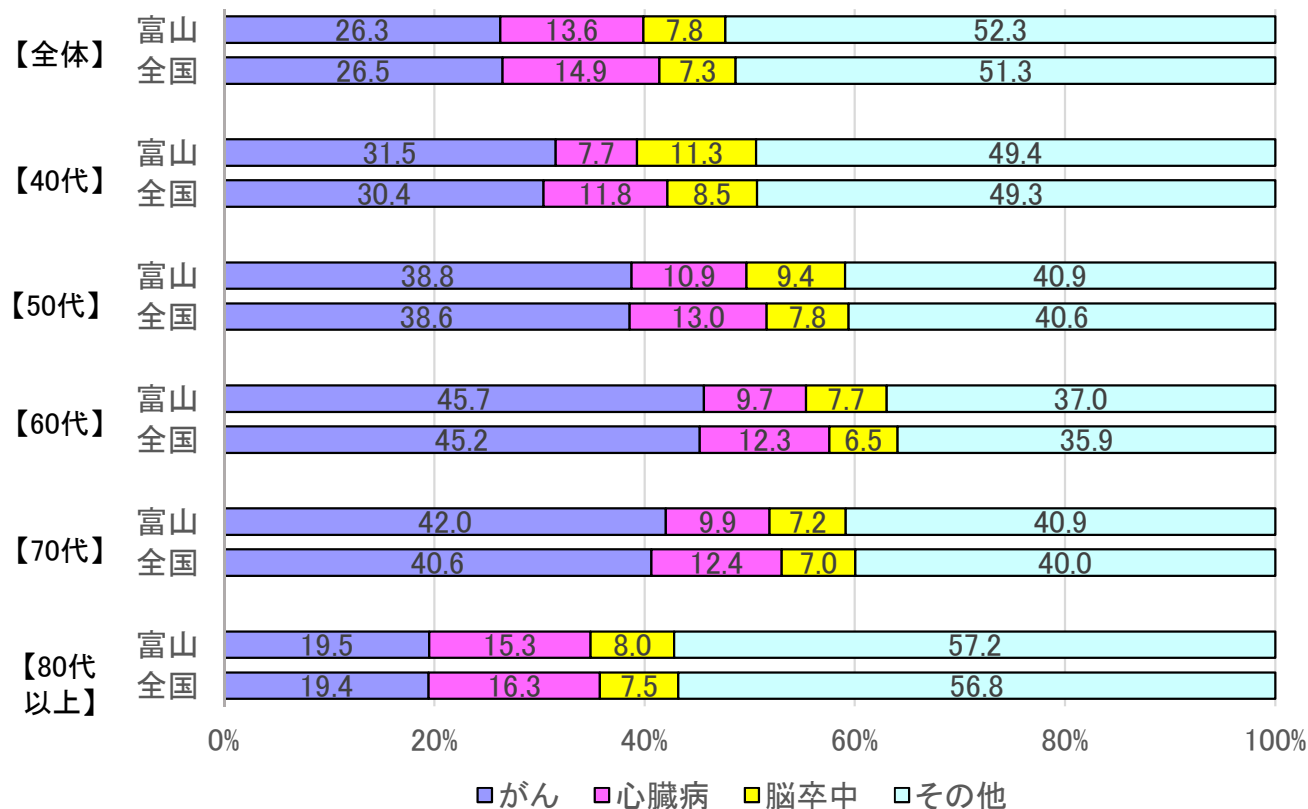
○富山県の総死亡数に占めるがんの割合は約3割となっており、年齢別に見ると、60歳、70歳代で4割を超えている。

主要な死因及びその構成割合(R3)



出典：厚生労働省「人口動態統計」

年代別主要死因構成割合(R3)



出典：厚生労働省「人口動態統計」

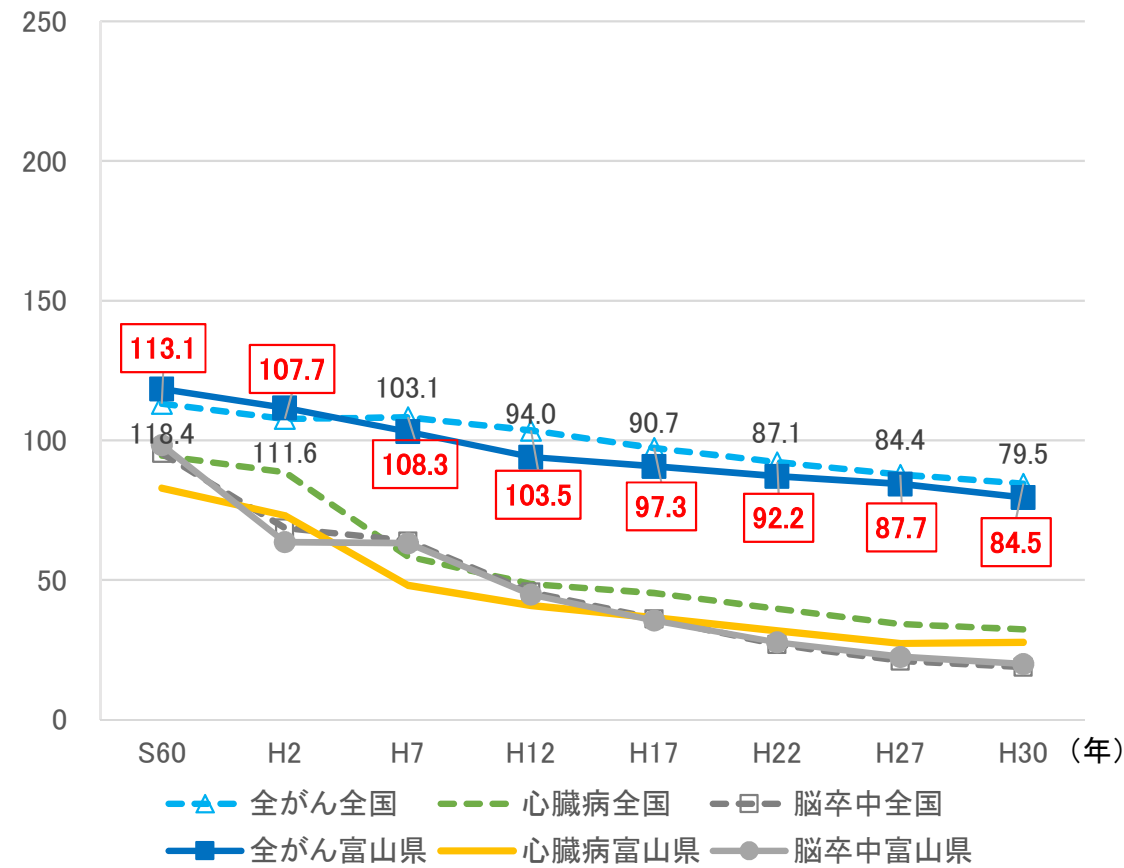
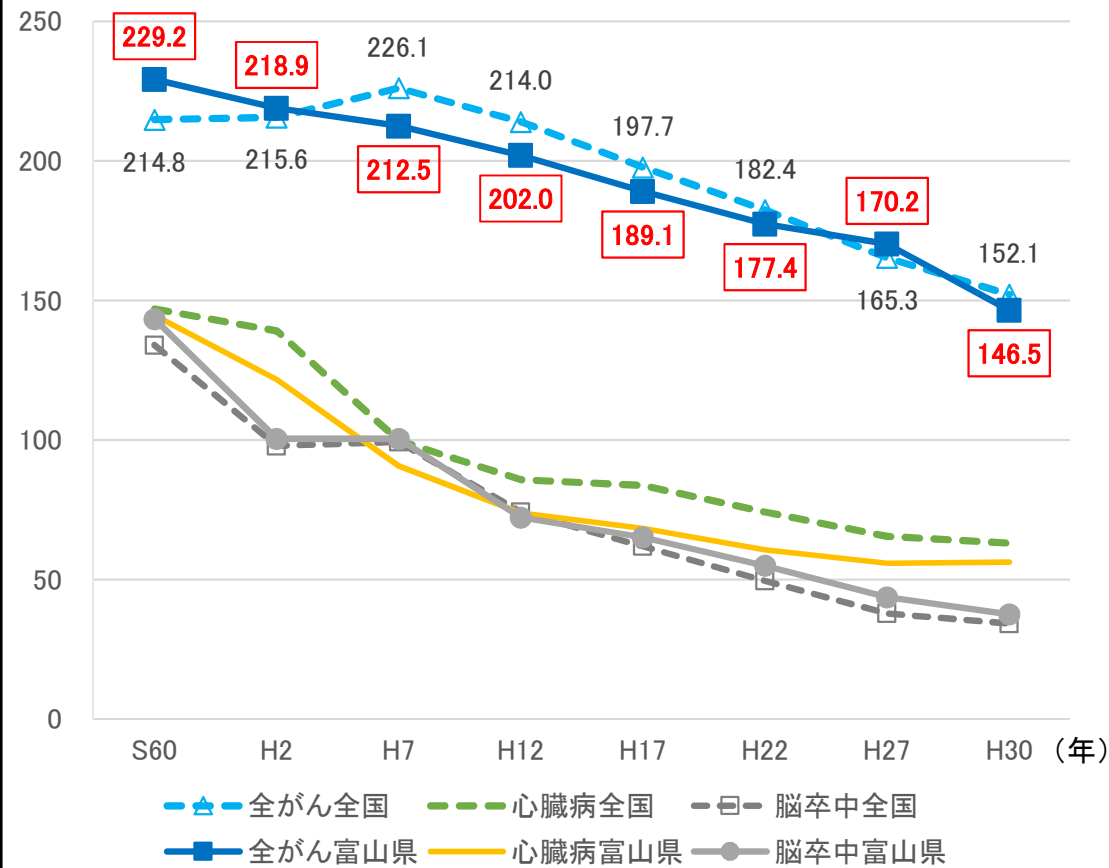
富山県の死亡原因におけるがんの割合②

○男女ともに概ね減少傾向にあり、平成7年以降は全国値を下回っている。

主要死因別年齢調整死亡率(人口10万対)の推移

男性

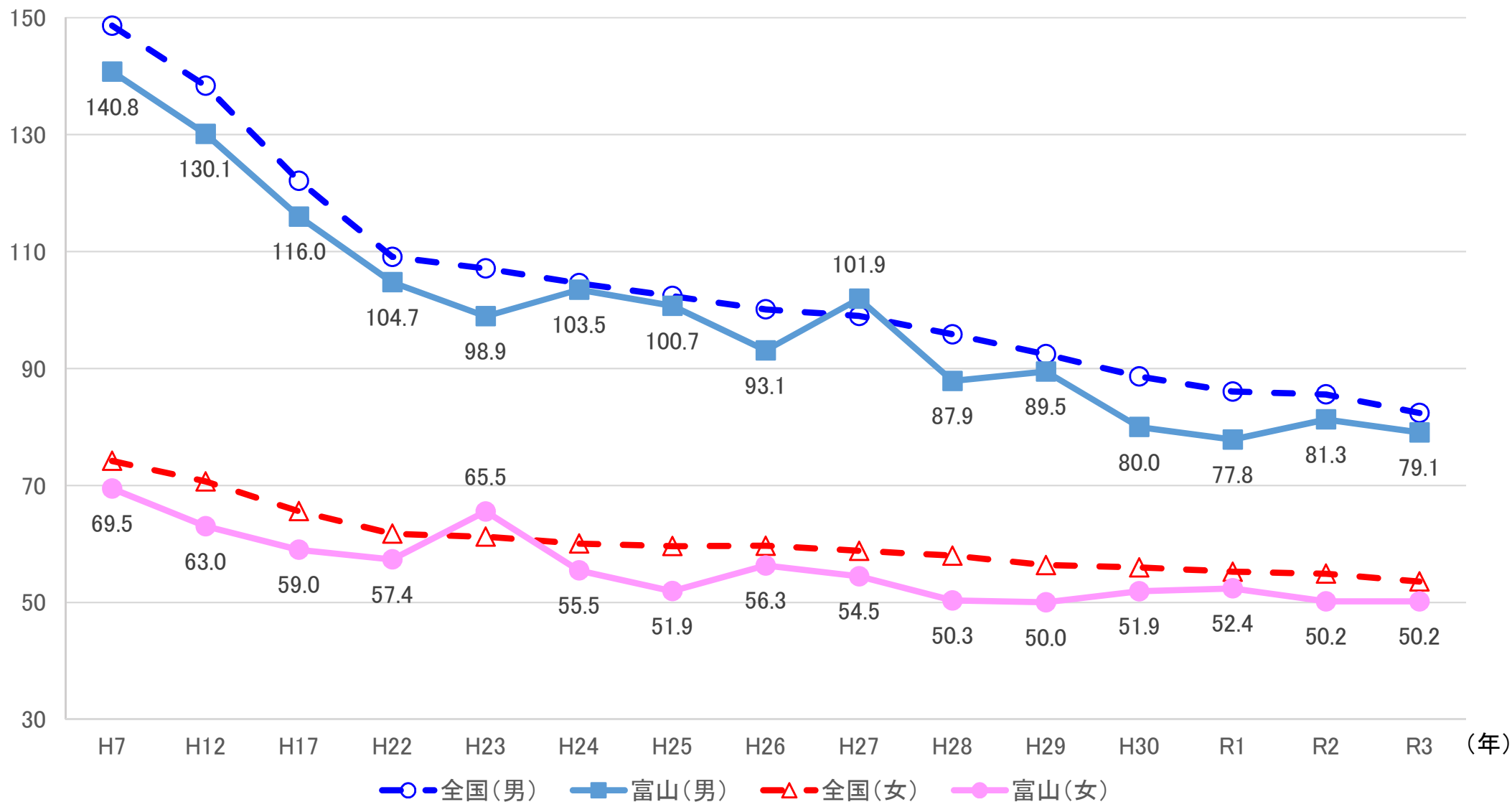
女性



出典：厚生労働省「人口動態統計」

全がんの75歳未満年齢調整死亡率（人口10万対）

○男女ともに概ね減少傾向にあり、平成28年以降は全国値を下回っている。

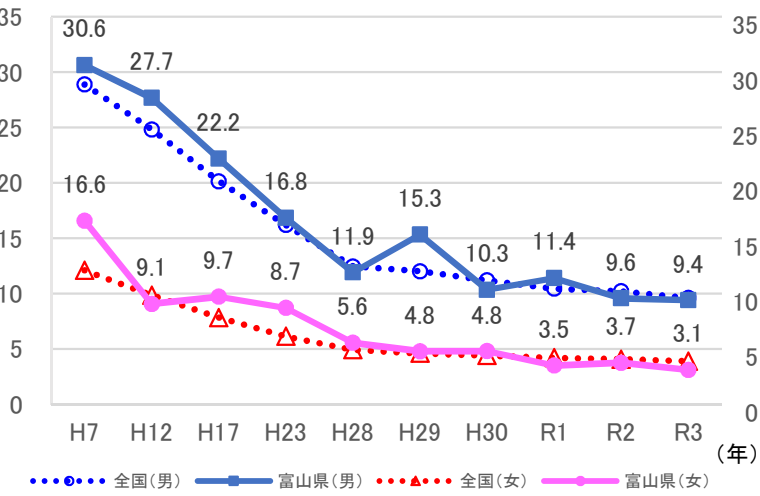


出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（人口動態統計）

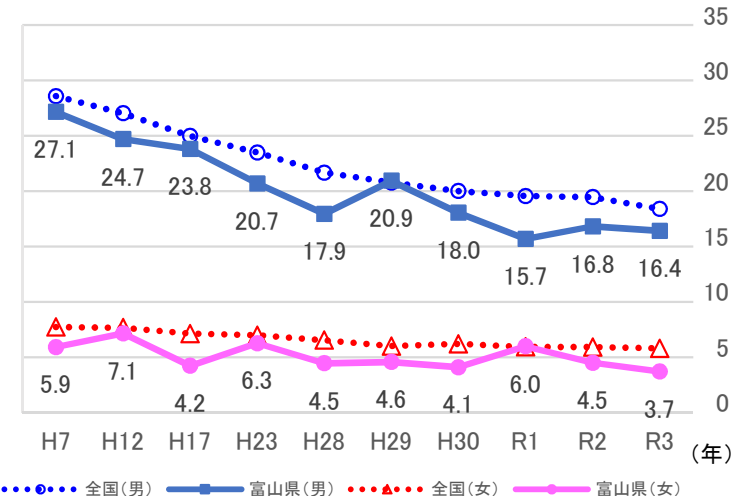
がんの部位別75歳未満年齢調整死亡率（人口10万対）

○男女ともにほとんどの部位において、概ね減少傾向にあるが、**子宮がん**においては増加傾向にある。

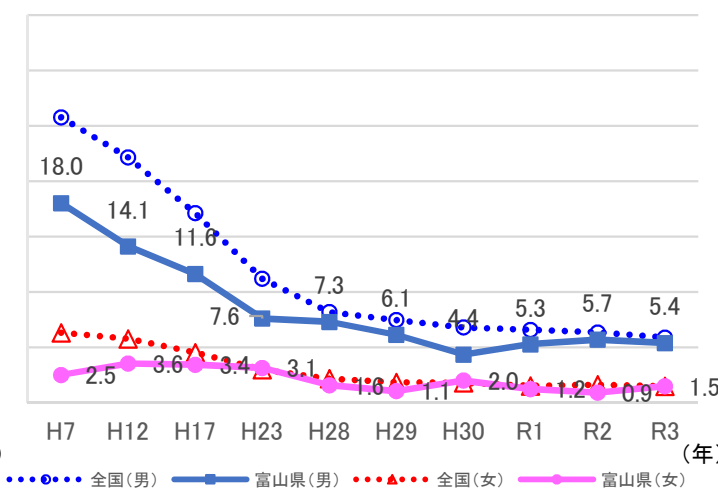
胃がん



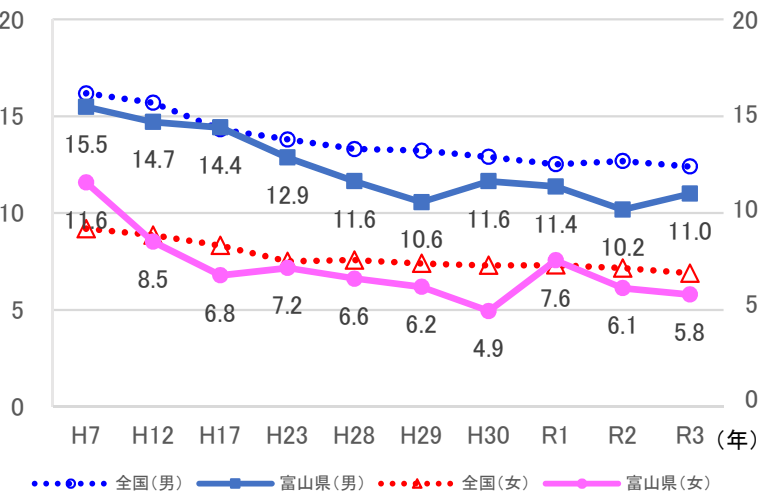
肺がん



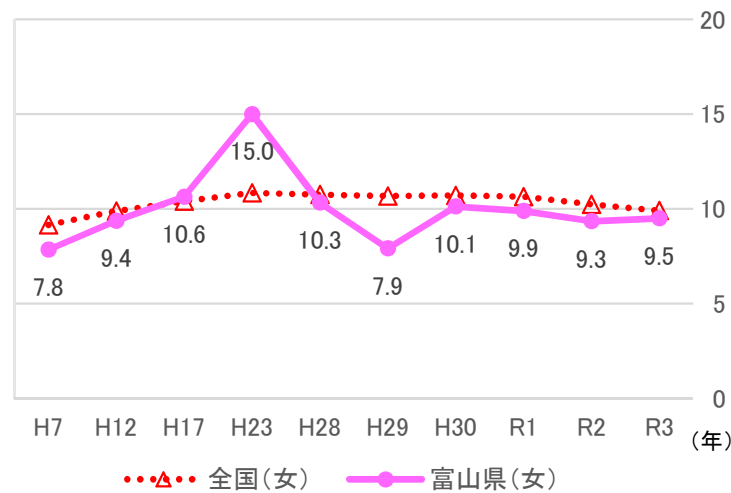
肝がん



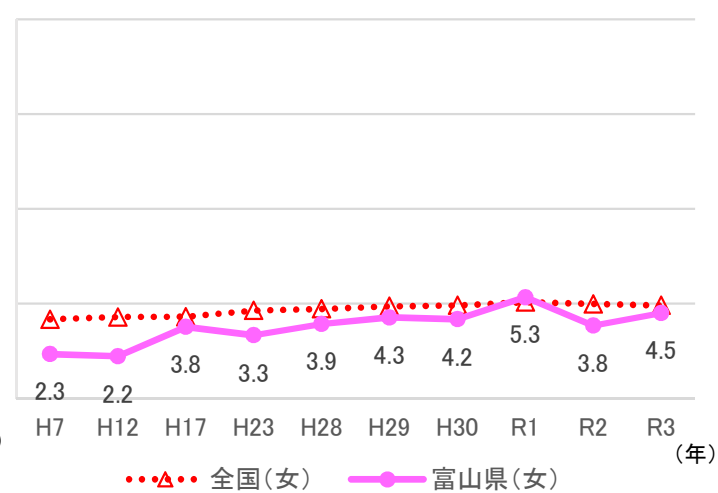
大腸がん



乳がん



子宮がん

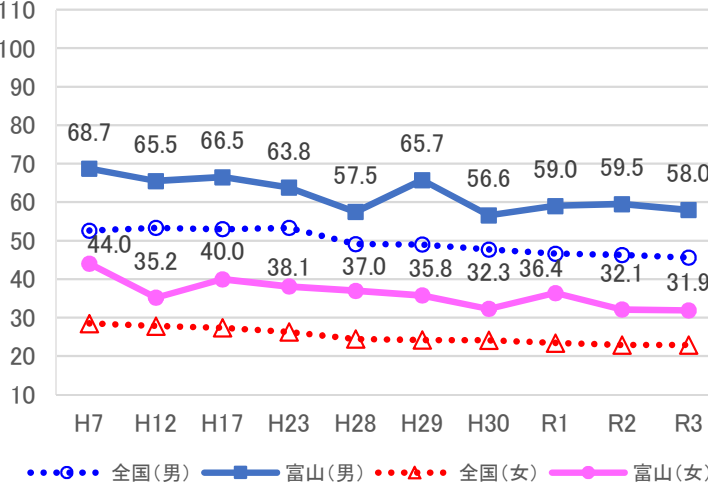


出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（人口動態統計）

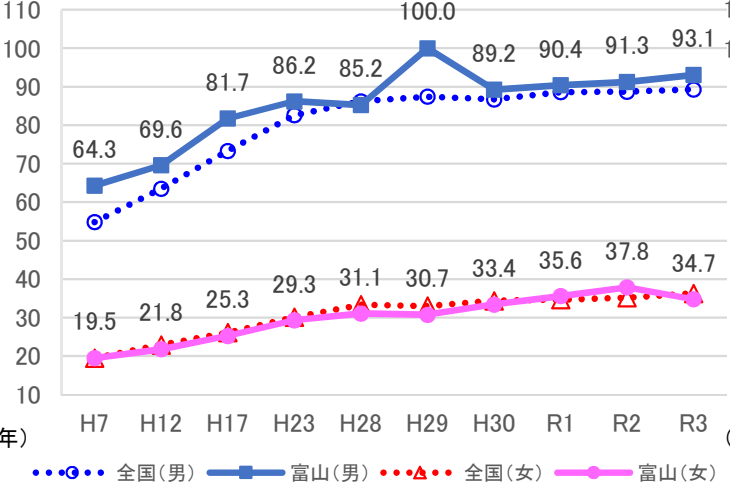
がんの部位別粗死亡率（人口10万対）

○男女ともに胃、大腸、肝がんについて、全国値を上回っている。(R3)
 ○男性では肺がんが全国値を上回っている。

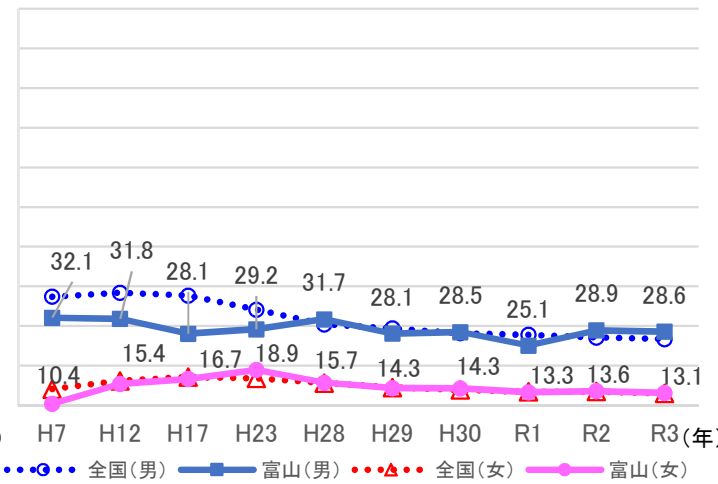
胃がん



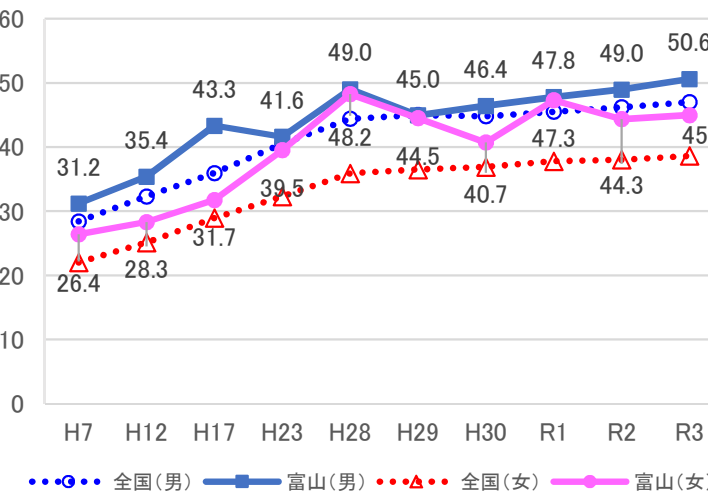
肺がん



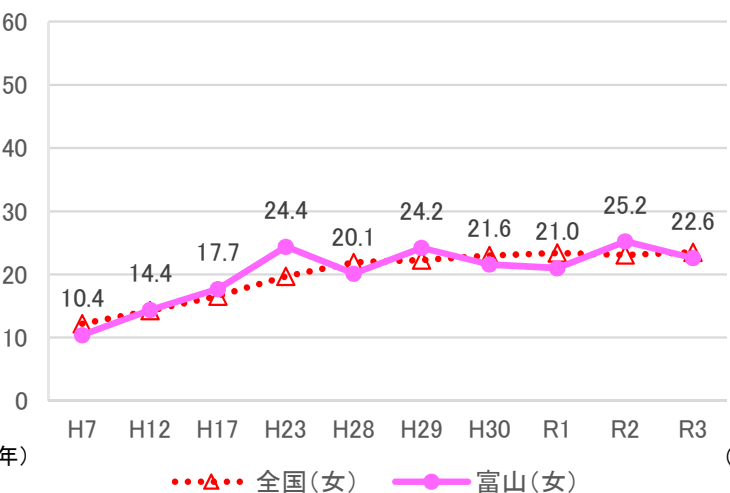
肝がん



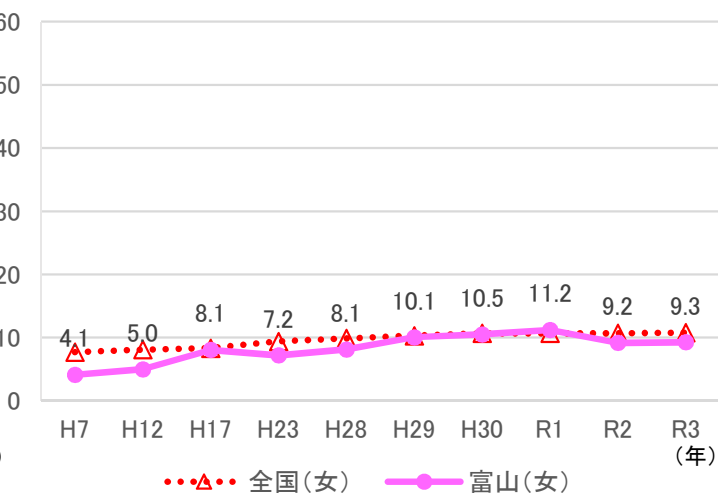
大腸がん



乳がん



子宮がん



出典：厚生労働省「人口動態統計」

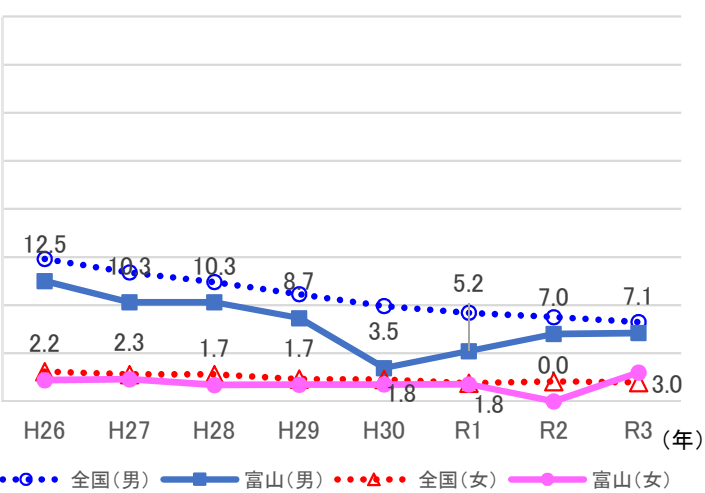
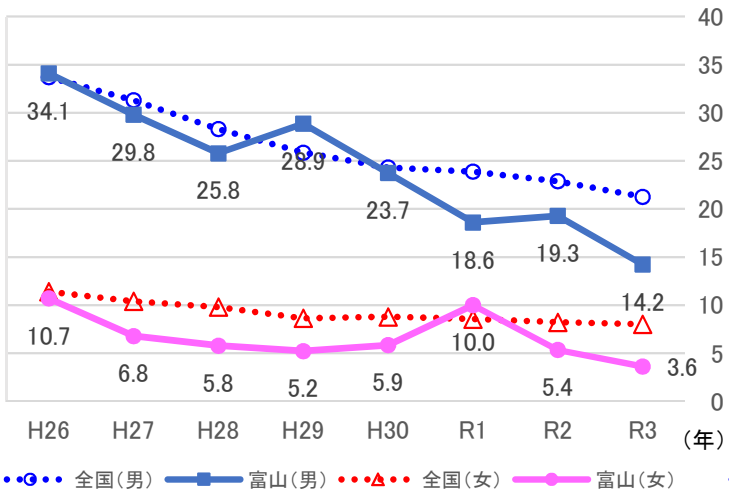
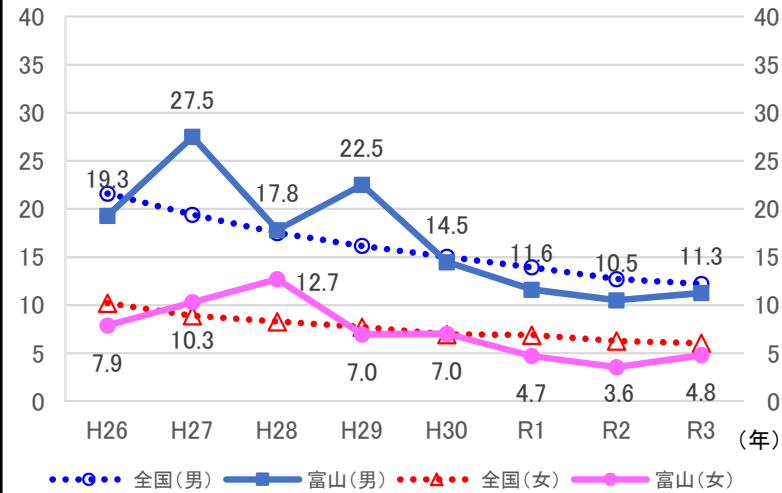
働く世代（40～64歳）のがん死亡率（人口10万対）

○男女ともにほとんどの部位において**全国値を下回っている**。
 ○男性は**大腸がん**、女性は**乳房**、**肝がん**が全国値を上回っている。（R3年）

胃がん

肺がん

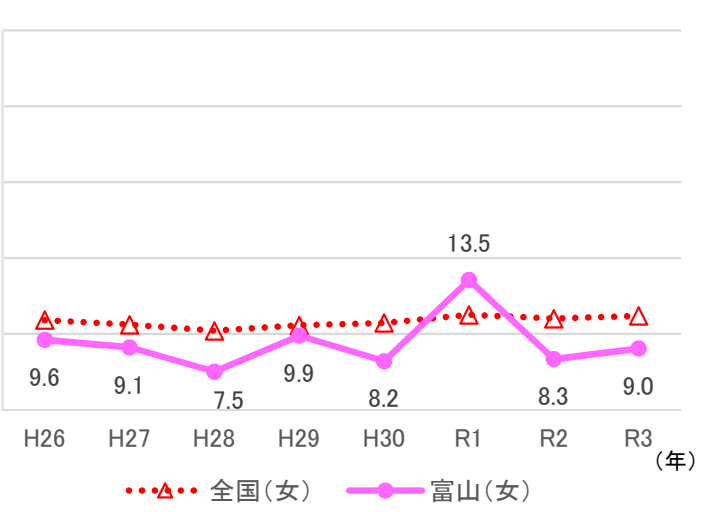
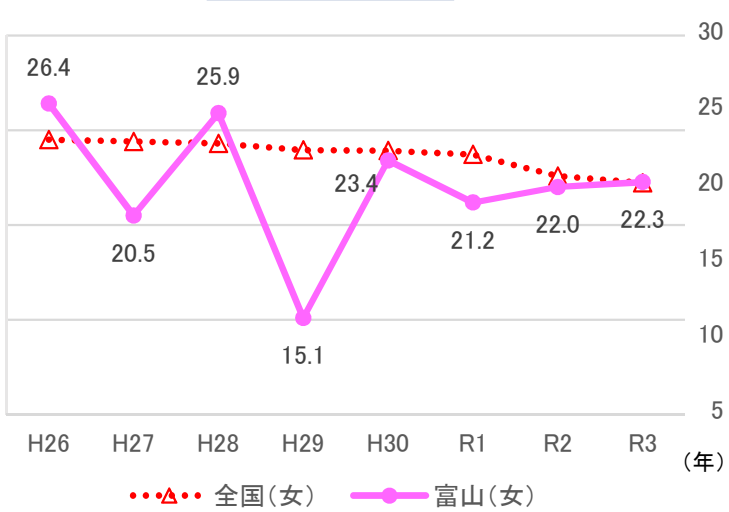
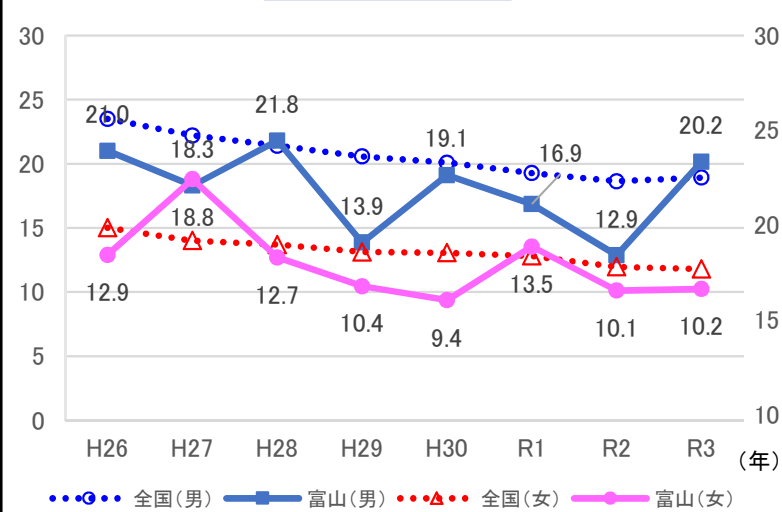
肝がん



大腸がん

乳がん

子宮がん

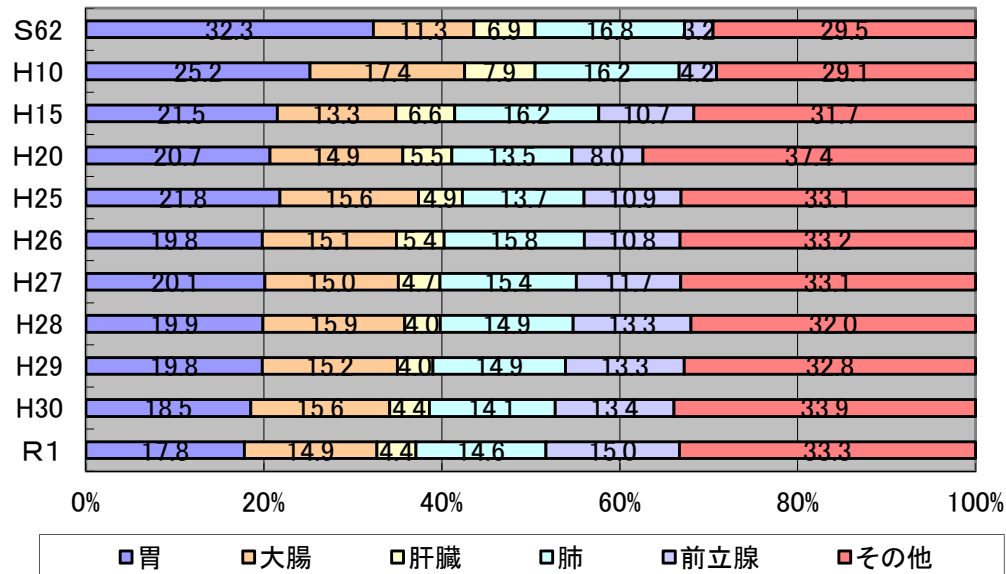


出典：厚生労働省「人口動態統計」

主要部位別がん罹患割合

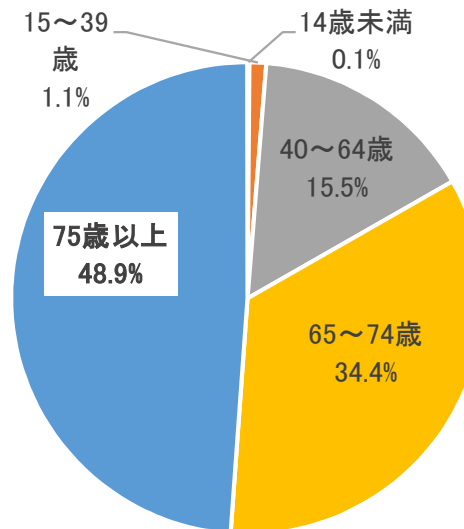
○男女ともに胃及び肝臓がんの割合は減少傾向にあり、男性では**前立腺がん**、女性では**乳がん**の割合が**増加傾向**にある。
 ○年齢別にみると、男女とも**75歳以上**の割合が最も多く、次いで、**65～74歳**の割合が高い。

主要部位別がん罹患割合の推移

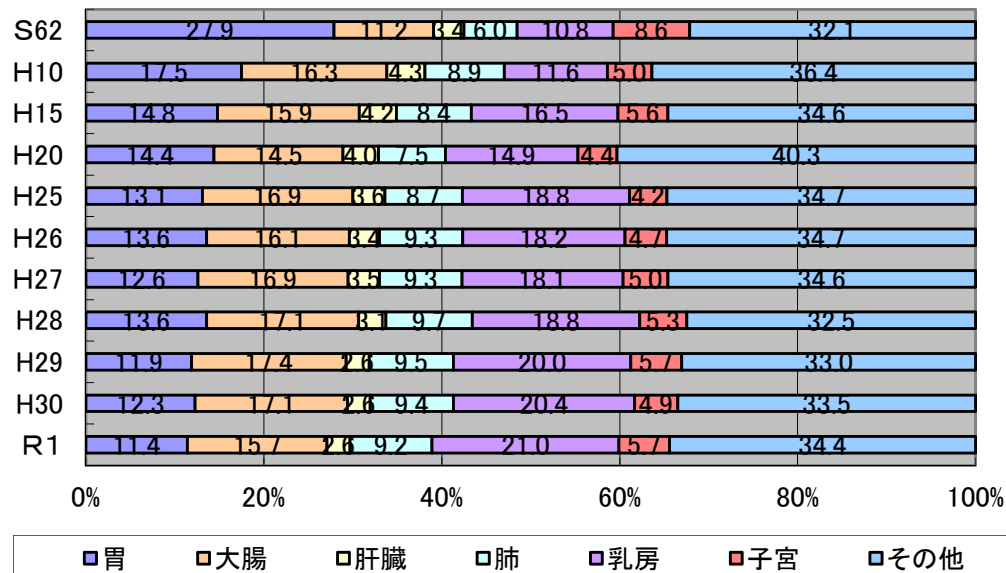


男性

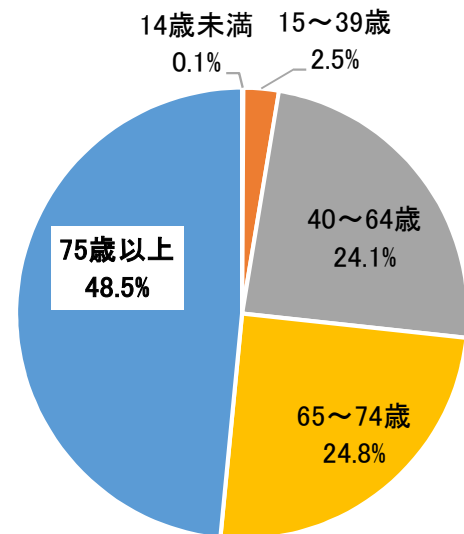
年齢別内訳(R1)



男性



女性

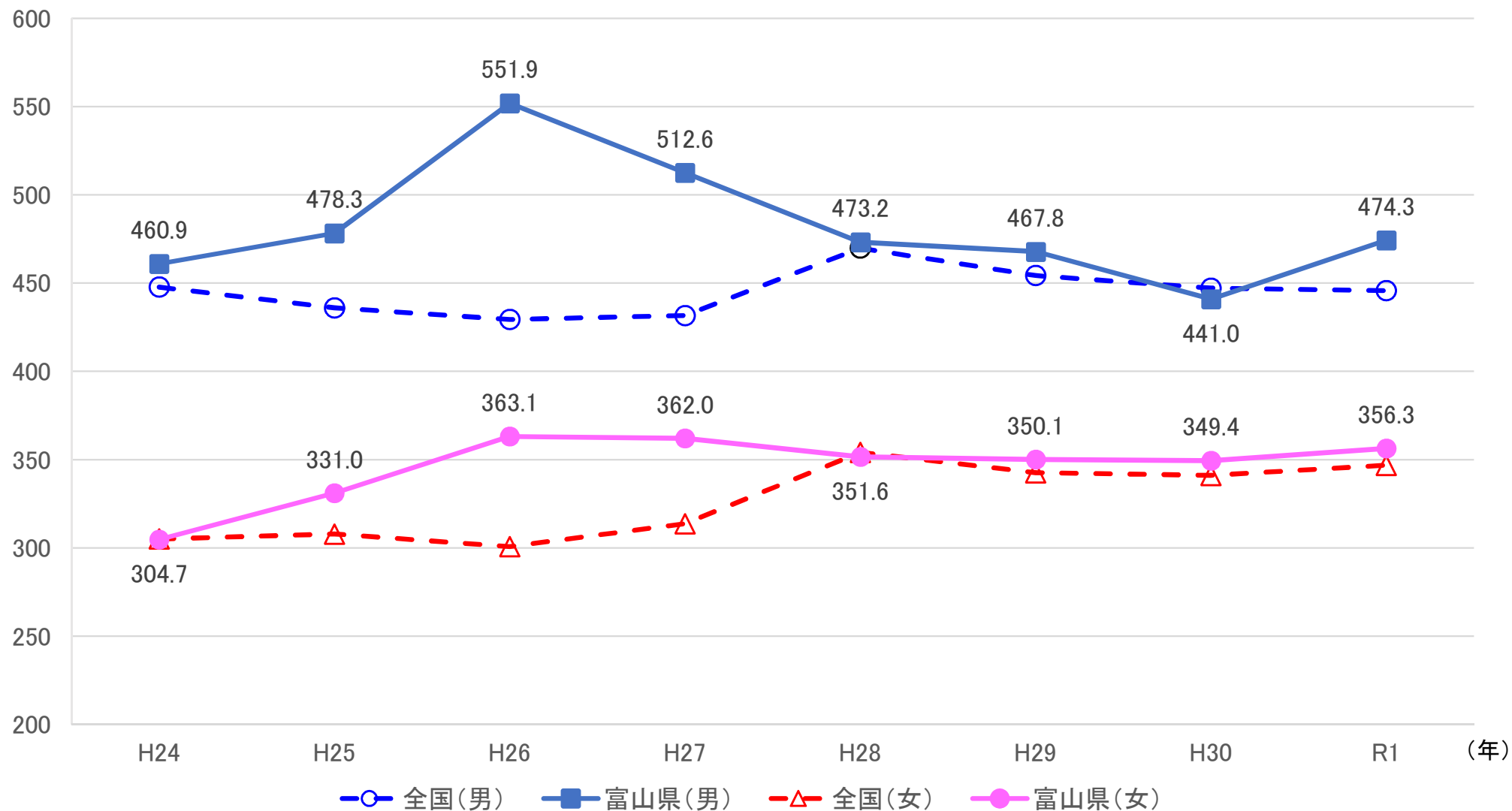


女性

出典：全国モニタリング統計
 厚生労働省「全国がん登録罹患数・率報告」

全がんの年齢調整罹患率（人口10万対）

○男女ともに**全国値を上回っている**。 ※平成28年1月より全国がん登録が開始（医療機関の届出が義務化）



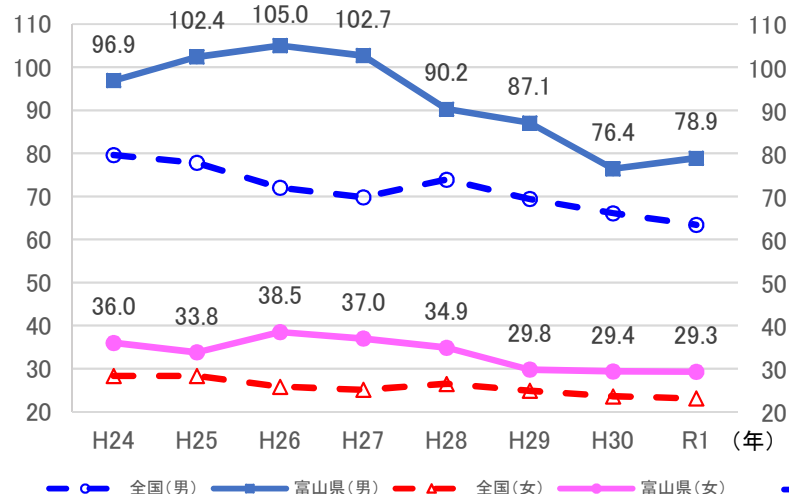
出典：全国がん罹患モニタリング集計
厚生労働省「全国がん登録罹患数・率報告」

がんの部位別年齢調整罹患率（人口10万対）

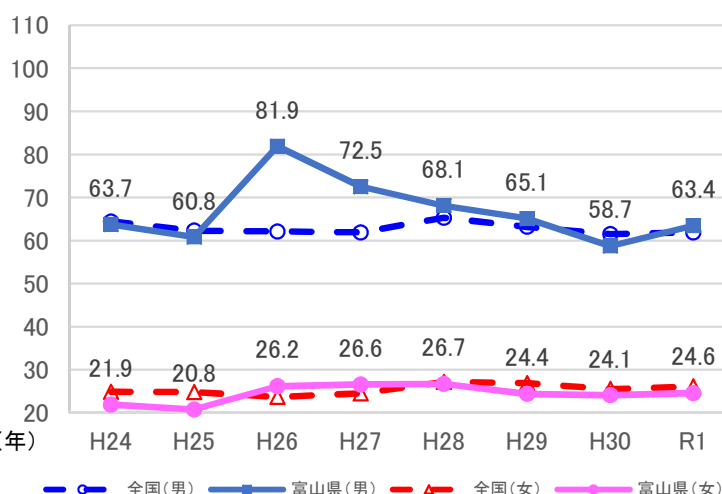
○男女ともに胃がんにおいて全国値を上回っている。

○推移をみると、ほとんどのがん種は横ばいまたは減少傾向にあるが、乳房、子宮がんは増加傾向にある。

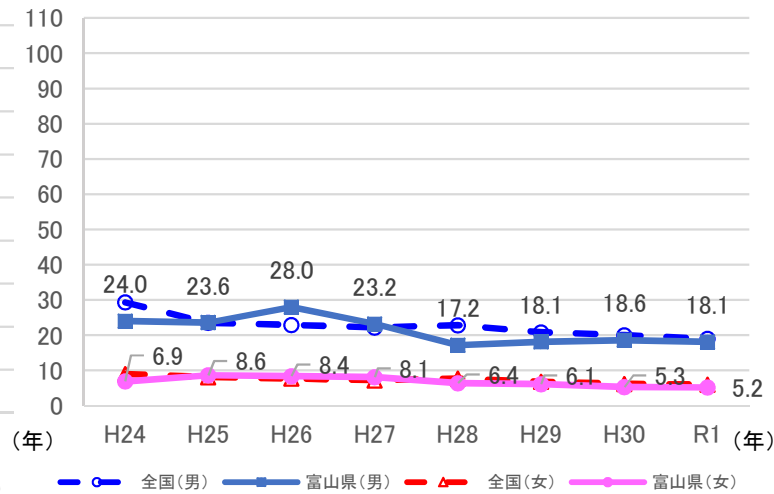
胃がん



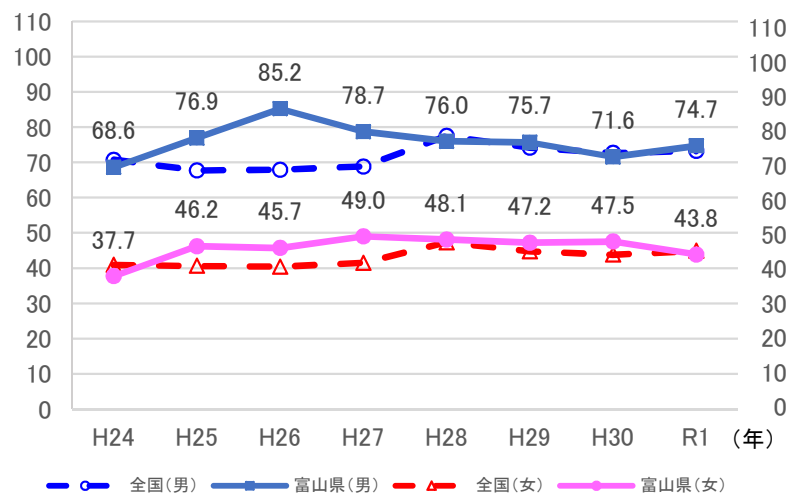
肺がん



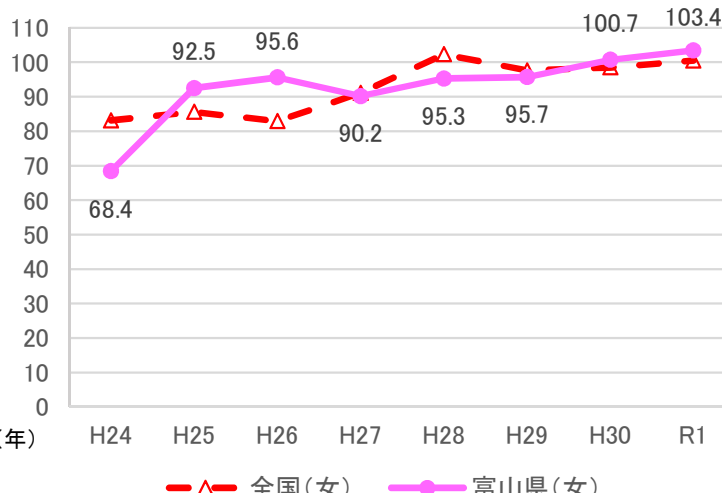
肝がん



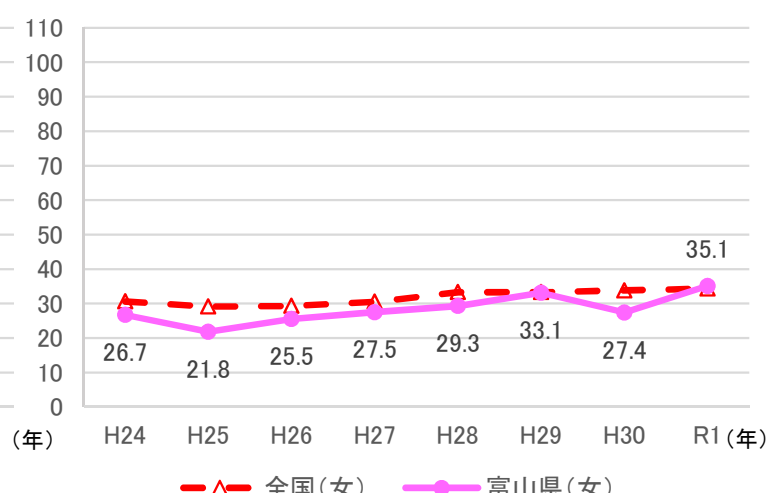
大腸がん



乳がん

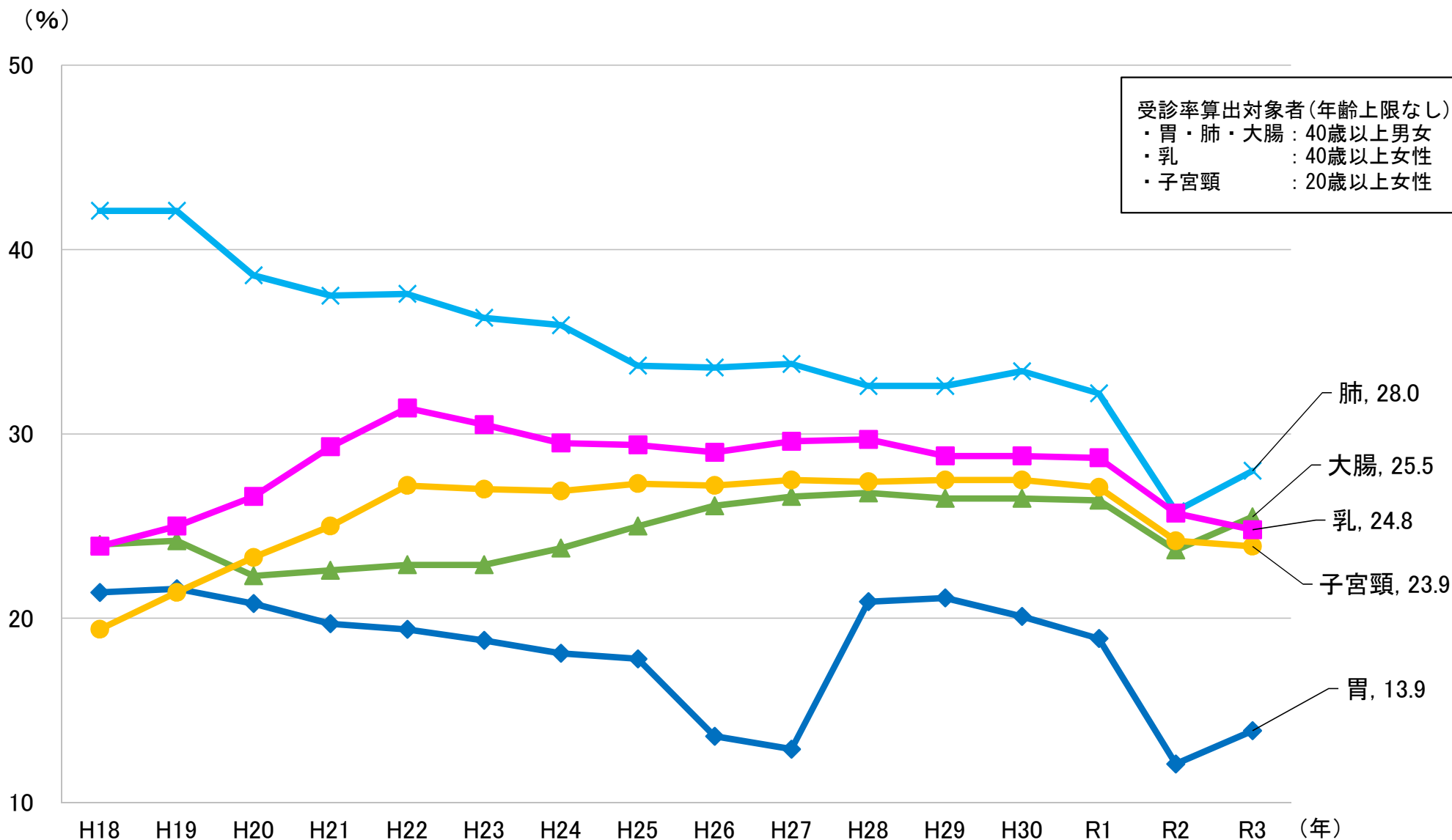


子宮がん



(市町村) がん検診受診率 (富山県)

○全ての部位において、2016(平成 28)年度以降 2019(令和元)年度までは、ほぼ横ばいとなっている。
 ○2020(令和 2)年度には新型コロナウイルス感染症の影響と思われる受診控えにより、いずれのがん種の検診受診率も低下している。



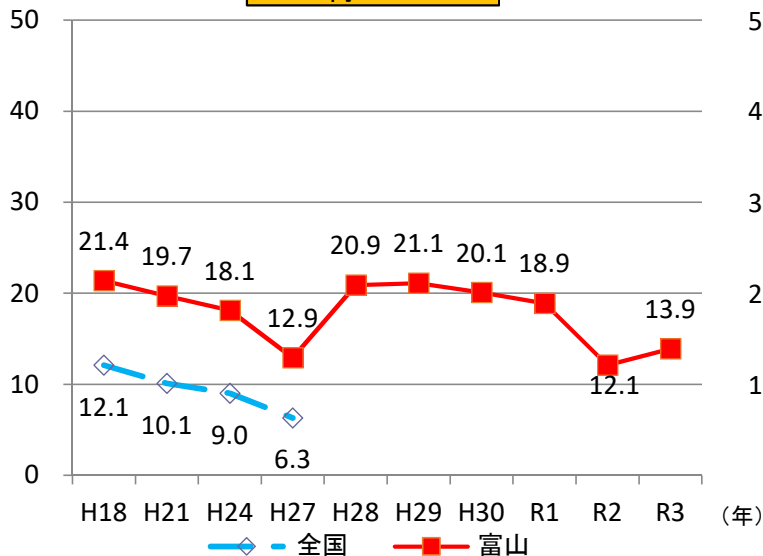
出典：地域保健・健康増進事業報告、健康課調べ

(市町村) がん検診受診率 (部位別全国比較)

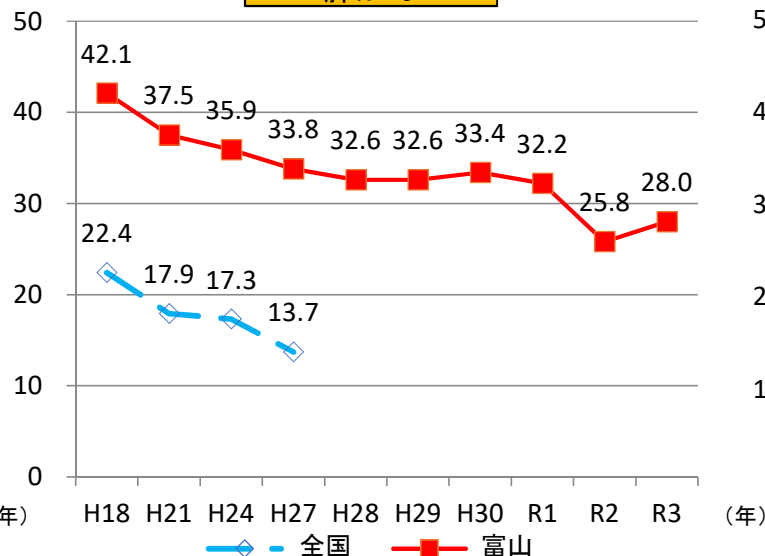
【受診率算定にあたっての留意事項 (H28からの変更点)】

- (1) 胃がん検診に関しては、国の指針改定に伴い、H28年度分より内視鏡検査を含めて算定
- (2) 受診率を算定するための対象者数(分母)については、引用先である「地域保健・健康増進事業報告(厚生労働省)」の集計方法の変更に伴い、H28年度分よりその把握が困難となった。そのため、県健康課で独自に県内市町村に対象者数を照会し把握した数値を用いて受診率を算定した。
※なお、対象者数の全国値を把握することが困難なため、H28～R3年度分の受診率では、全国値を掲載していない。

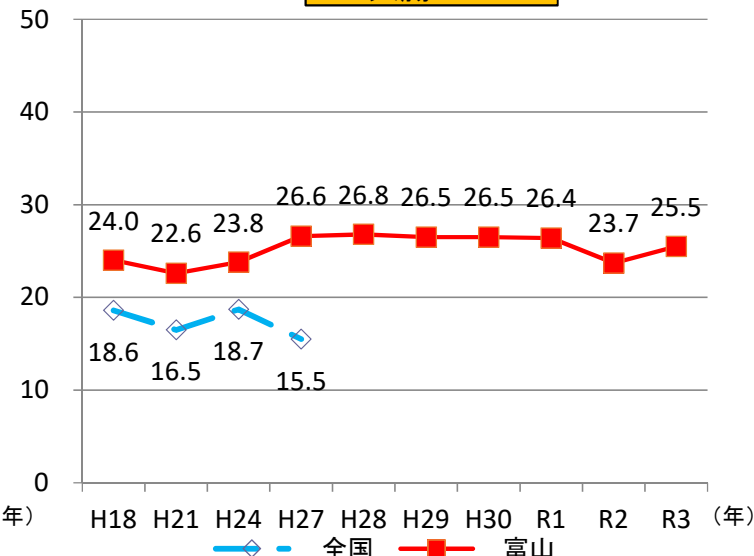
胃がん



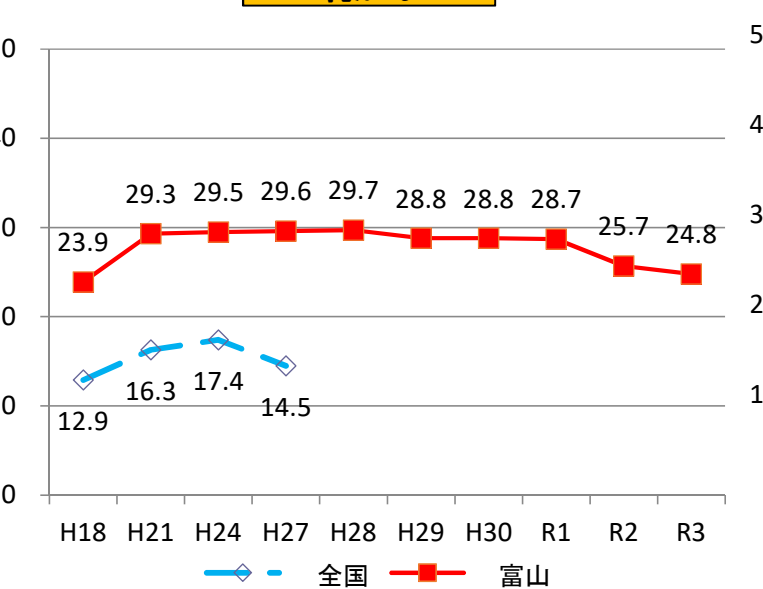
肺がん



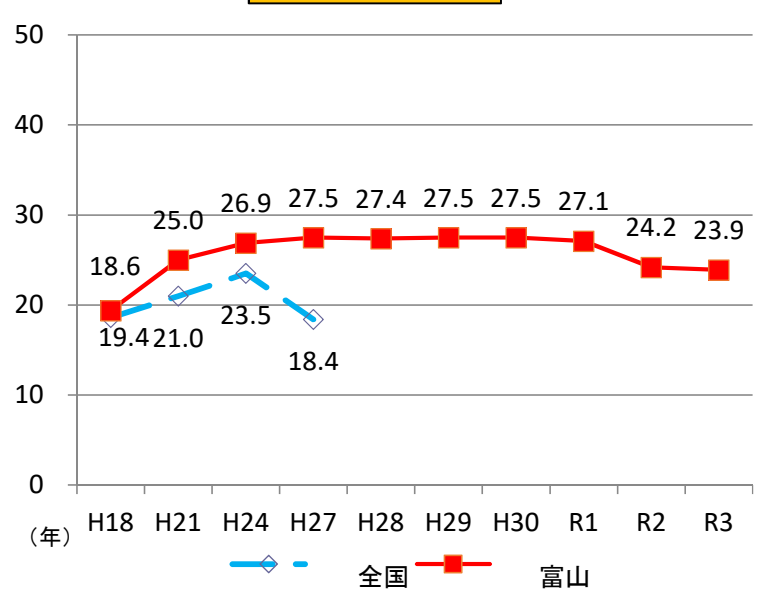
大腸がん



乳がん



子宮がん

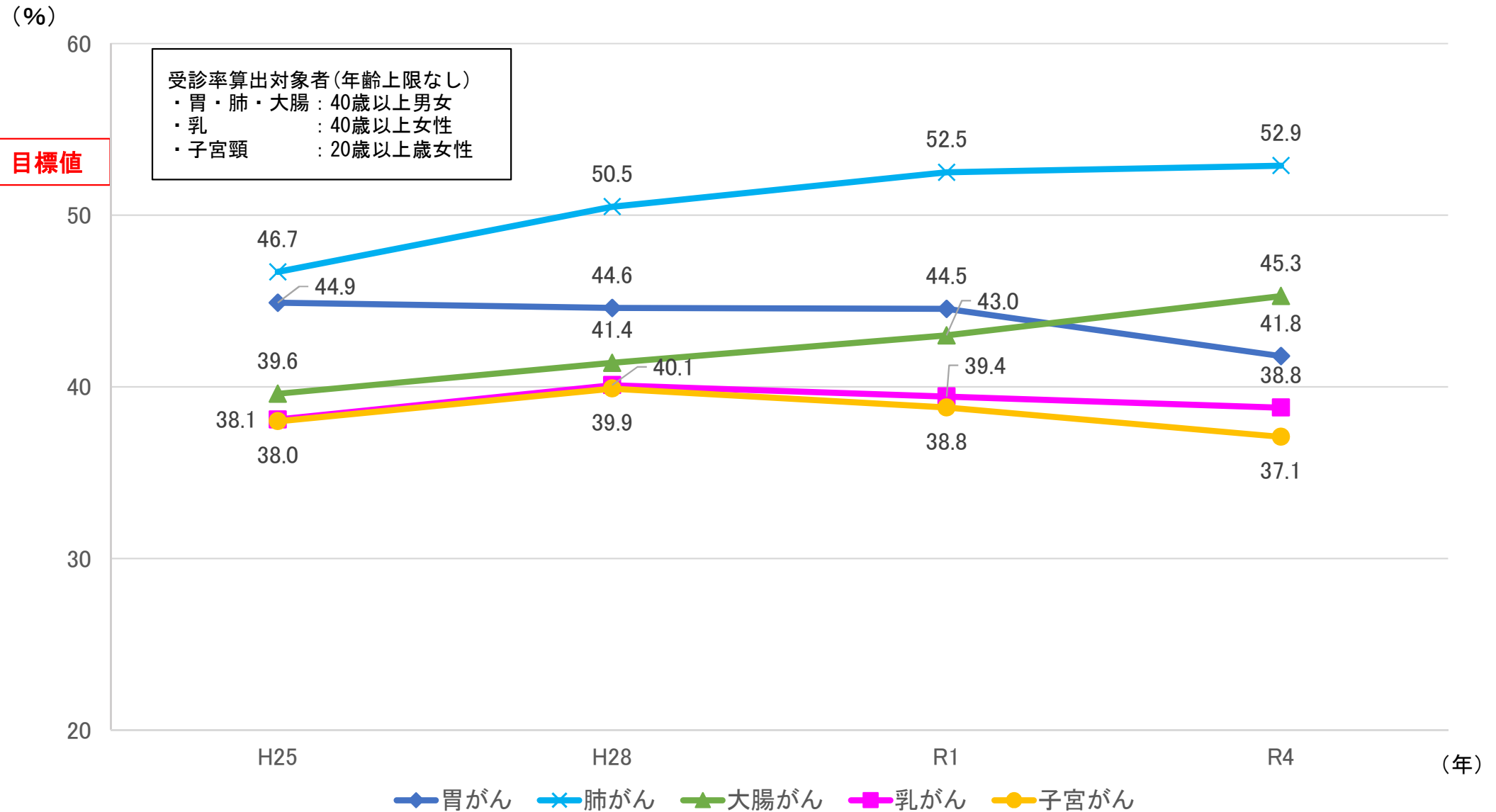


受診率算出対象者(年齢上限なし)
 ・胃・肺・大腸 : 40歳以上男女
 ・乳 : 40歳以上女性
 ・子宮頸 : 20歳以上女性

出典：地域保健・健康増進事業報告、健康課調べ

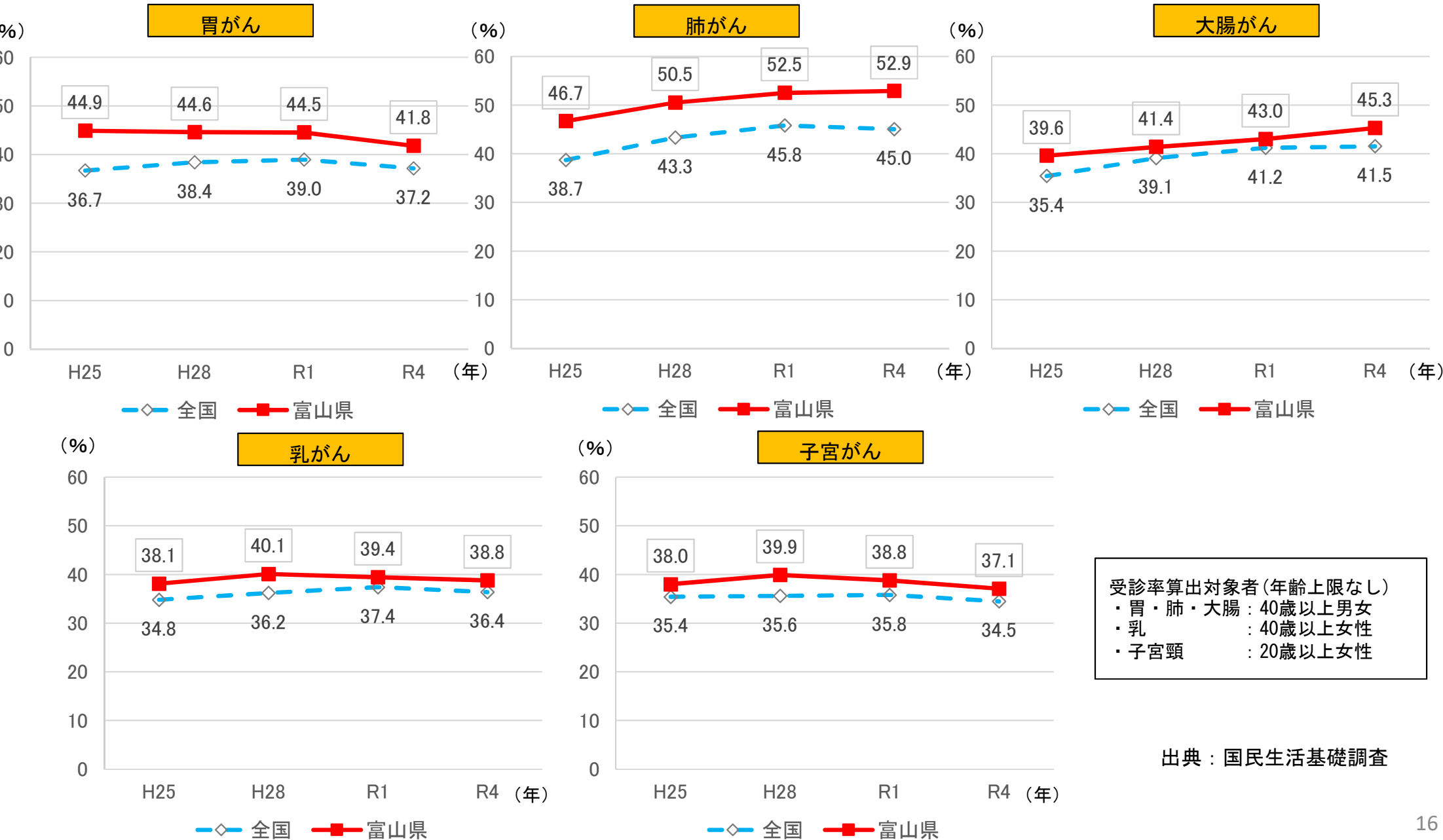
(市町村・職域) がん検診受診率 (富山県)

○ほとんどの部位(肺がん以外)において、目標値に達していない。
 ○肺がん、大腸がんは増加している(改善傾向にある)ものの、胃がんや乳がん、子宮頸がんについては、減少傾向にある。



(市町村・職域) がん検診受診率 (部位別全国比較)

○全ての部位において、**全国より上回っている**が、ほとんどの部位(肺がん以外)において、目標値に達していない。
 ○肺がん、大腸がんは増加している(改善傾向にある)ものの、胃がんや乳がん、子宮頸がんについては、減少傾向にある。

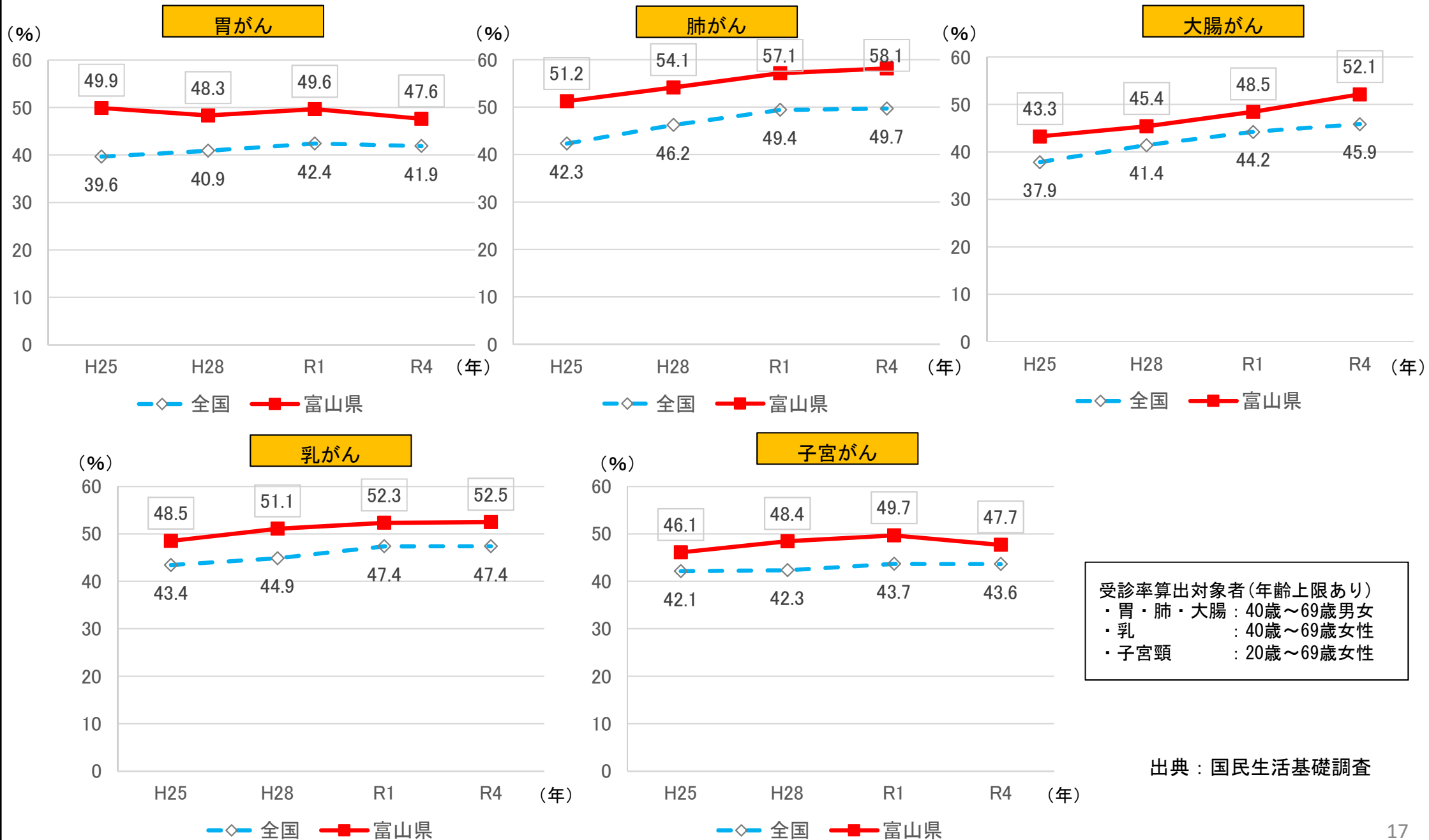


受診率算出対象者(年齢上限なし)
 ・胃・肺・大腸：40歳以上男女
 ・乳：40歳以上女性
 ・子宮頸：20歳以上女性

出典：国民生活基礎調査

(市町村・職域) がん検診受診率 (部位別全国比較)

○全ての部位において、**全国より上回っている**が、ほとんどの部位(胃がん、子宮がん以外)において、目標値に達している。



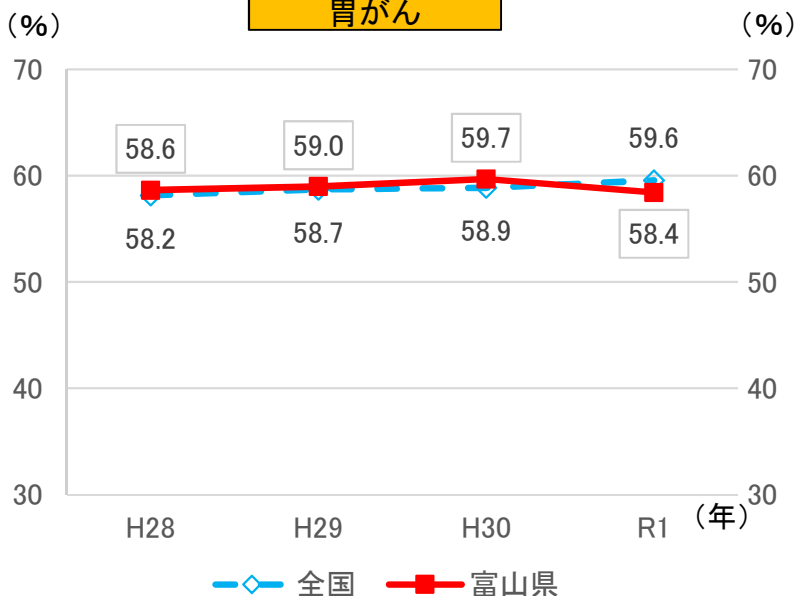
受診率算出対象者(年齢上限あり)
 ・胃・肺・大腸 : 40歳~69歳男女
 ・乳 : 40歳~69歳女性
 ・子宮頸 : 20歳~69歳女性

出典 : 国民生活基礎調査

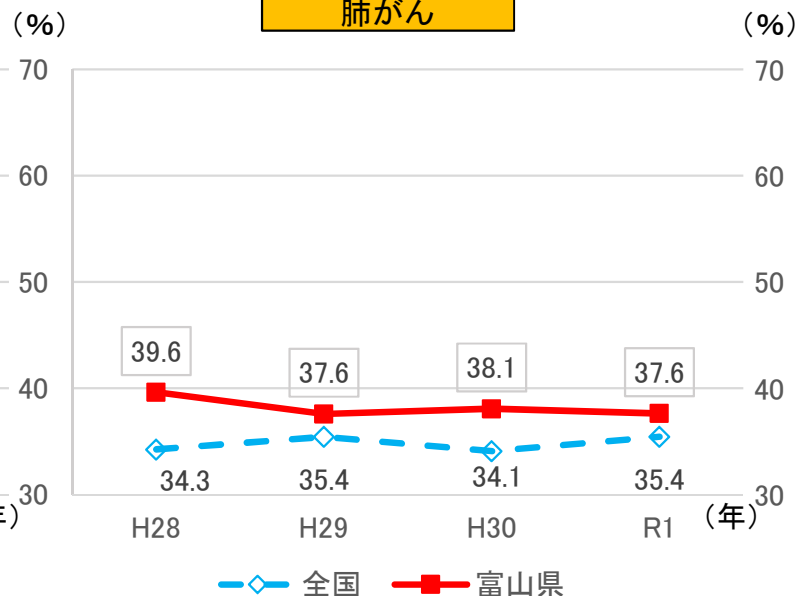
検診がん種別早期がん（限局）発見率（総合）（部位別全国比較）

○ほとんどのがん種(大腸がん以外)において、**全国より上回っている**。
 ○全てのがん種において、発見率が**増加傾向**にある。

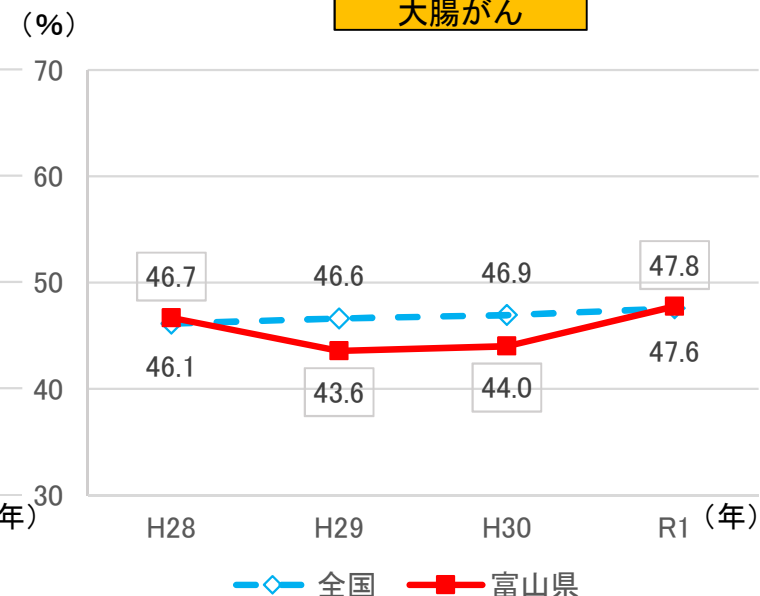
胃がん



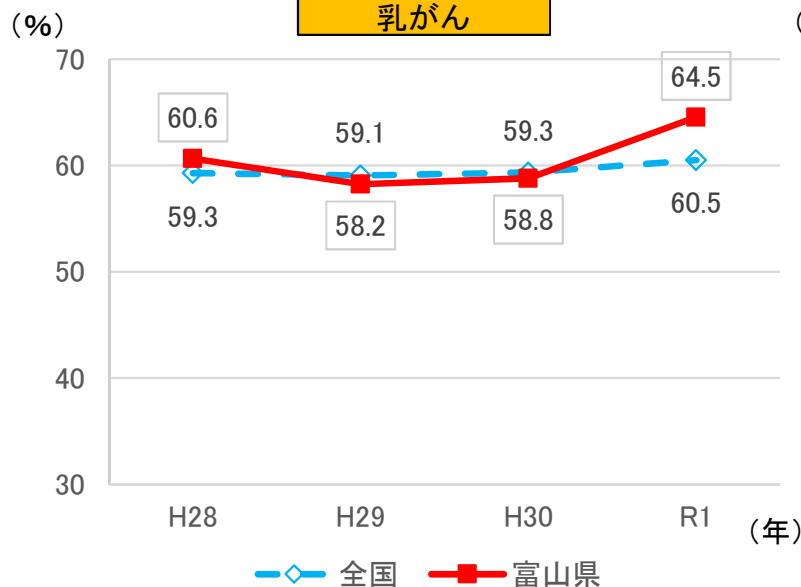
肺がん



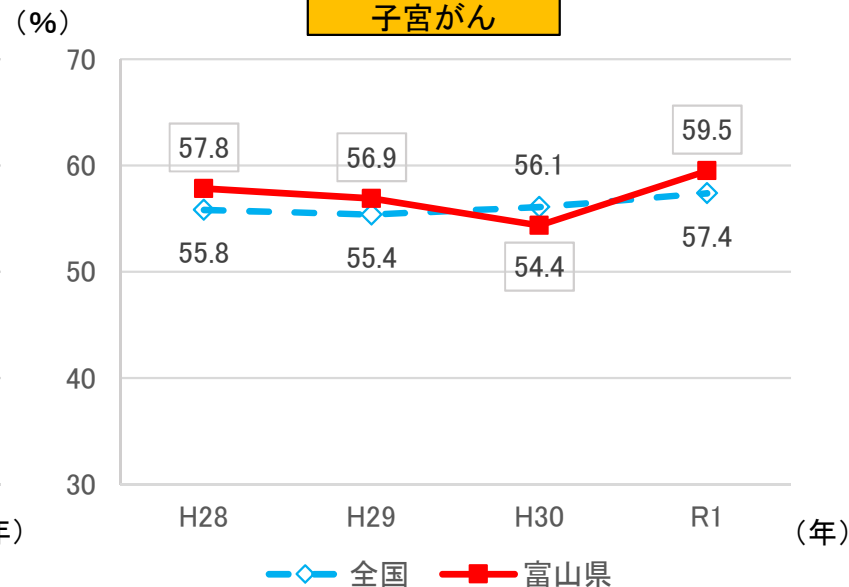
大腸がん



乳がん



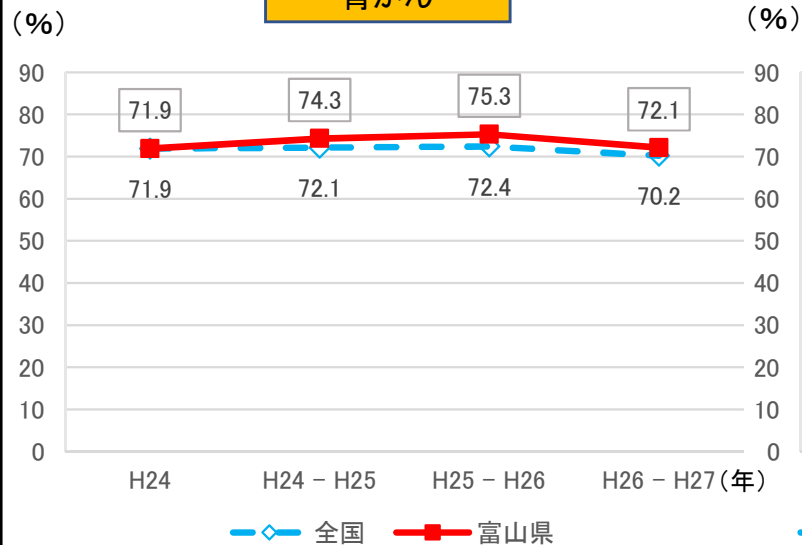
子宮がん



がんの部位別 5年相対生存率 (%)

○ほとんどのがん種において、全国値を上回っているが、**子宮頸がん**については、**全国値を下回っている**。

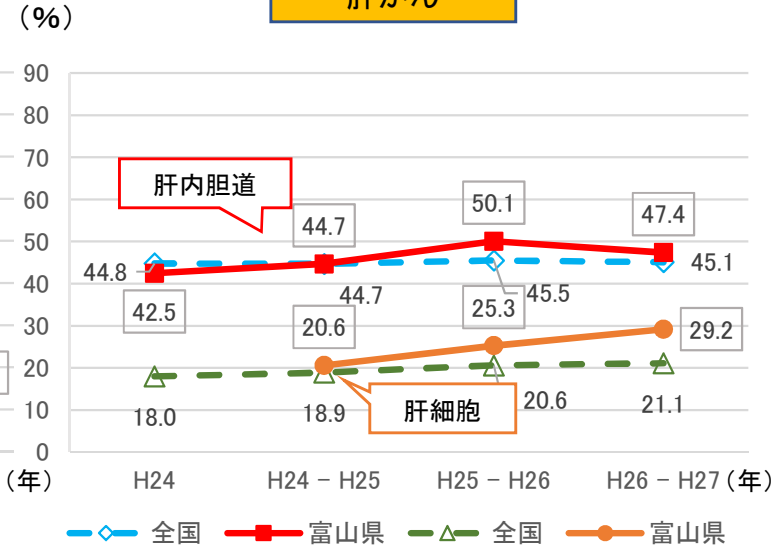
胃がん



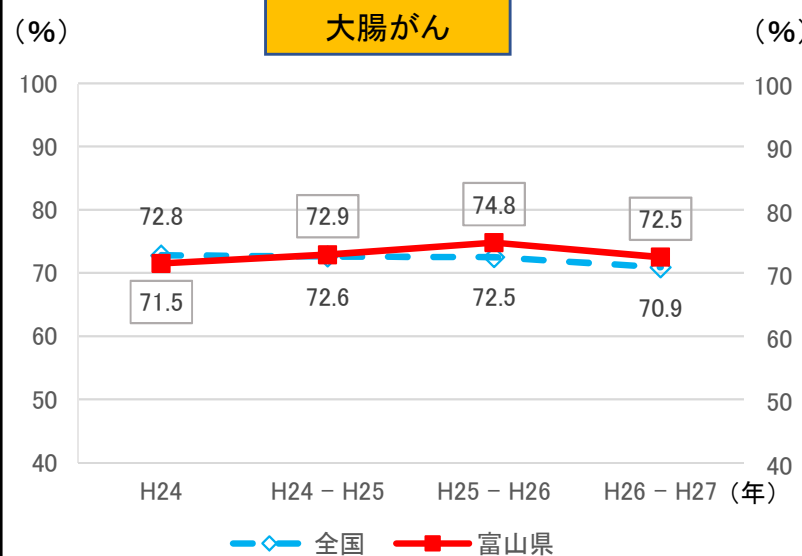
肺がん



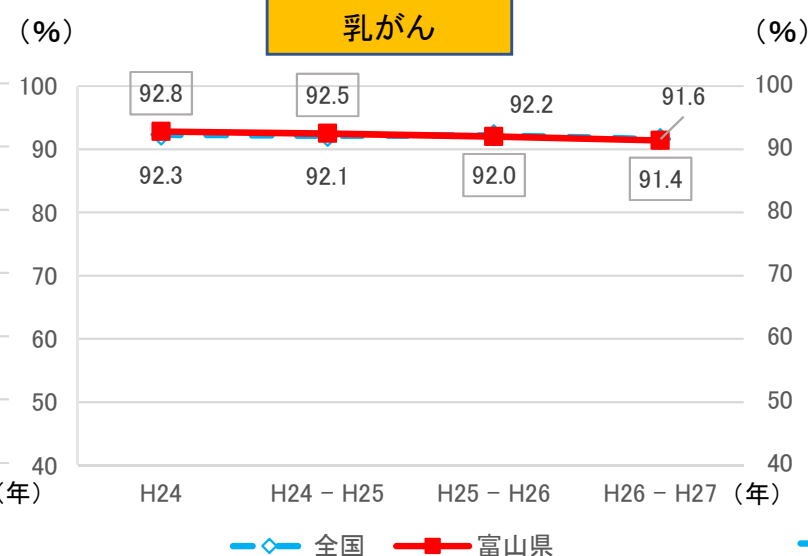
肝がん



大腸がん



乳がん



子宮がん



本県におけるがんに係る主な取組 状況

I 予防の強化と早期発見の推進

働き盛りの健康づくり支援（健康ポイント）事業

主に働き盛りの健康づくりを支援するため、県公式スマートフォン歩数計アプリ「元気とやま かがやきウォーク」を活用した健康ポイント事業を実施し、楽しみながら継続して健康づくりに取り組む環境を整備するもの

※累計ダウンロード数 23,992件（R5年3月末時点）



つながる健康プロジェクト



「健康を次の世代につなげる」ことをコンセプトに、世代間で健康づくりを支援するため、働き盛り世代向けの「ウォーキングファンドキャンペーン」や、学生向けの「つながる健康キャンペーン」「若者会議」を開催

I 予防の強化と早期発見の推進

野菜をもう一皿！食べようキャンペーン

「野菜の日」（8月31日）を契機として、家庭における野菜摂取の目標（1日350g）の達成を目指し、県内のスーパーや八百屋、コンビニエンスストアと連携して、野菜摂取促進の普及・啓発を実施

- ・ 期間 令和4年8月31日（水）～9月30日（金）
- ・ 協力店舗数 645店舗（R5年3月末時点）



おうちで減塩キャンペーン

県民の塩分摂取量の減少に向け、県民向けの啓発セミナーや減塩調味料利用へのきっかけをつくるキャンペーンを実施

■調味料メーカー直伝！減塩セミナー

- ・ 開催日 令和4年9月10日（土）
- ・ 場所 アルビス大島店
- ・ 参加者 だしコース23名、しょうゆコース22名

■おうちでこっそり減塩キャンペーン

- ・ 期間 令和4年11月1日（火）～11月14日（月）
- ・ 場所 アルビス減塩商品売り場（POP等掲示）
- ・ 期間 令和5年3月1日（水）～3月31日（金）
- ・ 場所 大阪屋ショップ減塩商品売り場（POP等掲示）



I 予防の強化と早期発見の推進

ぐっすりとやまプロジェクト

メタボリックシンドロームや生活習慣病のリスクを高めるといわれる睡眠不足等の解消に向け、「睡眠の日」（9月3日）を契機とした取り組みを実施

■ぐっすりとやまシンポジウム

- ・開催日 令和4年9月3日（土）
- ・参加者 県民92名

■ぐっすりとやまキャンペーン

- ・期間 令和4年9月3日（土）～10月31日（月）

■ぐっすりとやま出前講座

- ・実施回数 3企業、2団体 ・参加者 計350名



たばこ対策

① 禁煙及び受動喫煙防止に関する普及啓発

- (a) 世界禁煙デー・受動喫煙防止啓発ポスターの配布、掲示
- (b) 普及啓発物品の配布・貸出し
- (c) 事業主を対象にしたセミナーの開催

② 禁煙治療に保険が使える県内医療機関の紹介

県健康課ホームページにより紹介（一般社団法人日本禁煙学会ホームページへのリンク）

受動喫煙防止対策

令和2年4月1日から全面施行された改正健康増進法の円滑な運用のため、情報連絡会等の開催や、周知啓発、体制整備を実施



I 予防の強化と早期発見の推進

肝炎対策

① 広報・報道等

肝臓週間(7月24日~30日)に併せて、県内包括連携協定企業のスーパーマーケットでのポスター掲示等による普及啓発

② 職域における肝炎ウイルス検査受検勧奨の実施

健康増進センター(R5.5月)と北陸予防医学協会(R6.1月予定)において、健康診断を受診された方に肝炎ウイルス検査の受検勧奨を実施

③ 肝炎ウイルス検査の実施

県厚生センター及び富山市保健所と県内66の委託医療機関において肝炎ウイルス検査を実施

④ 肝炎重症化予防の推進

県内市町村や厚生センターにおける肝炎ウイルス検査の陽性者に対し、精密検査や定期検査の実施状況等を確認し、未受診者には受診勧奨を実施

また、市町村や県が実施した肝炎ウイルス検査や職域健診、妊婦一般健診、手術前検査にて陽性となった方が、医療機関で初めて精密検査を行った場合に、精密検査費用を助成

⑤ 肝炎医療費の助成

(a) 肝炎治療特別促進事業 (所得に応じて自己負担額1万又は2万円)

(b) 肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業 (自己負担額1万円(所得制限あり))

⑥ 肝炎医療コーディネーター研修会の開催

(a) 富山県肝炎医療コーディネーター養成研修会

(b) 富山県肝炎医療コーディネーターフォローアップ研修会

I 予防の強化と早期発見の推進



がん検診受診促進シンボルマーク

がん検診受診に関する普及啓発

- ① がん協定締結企業とのがん検診受診率向上コラボ作戦事業
がん検診の受診率向上のため、がん協定締結企業等（20社）と連携した啓発事業を実施
「がん検診受診促進週間」を設け、統一的な啓発活動を集中的に実施
- ② 啓発イベントの実施
各種のイベントを活用した啓発活動を実施



市町村のがん検診受診率向上に向けた取組み

- ① 節目検診・重点年齢検診推進事業
市町村の節目年齢検診（5歳毎）や重点年齢検診（胃がん：50代のうち節目を除く2回、乳がん：40代のうち節目を除く2回、子宮頸がん：20～30代のうち節目を除く4回）における自己負担額の軽減を支援するもの。
- ② がん対策推進員活動支援事業
市町村が養成している、がん対策推進員等の健康づくりボランティアの活動を支援
市町村におけるがんに関する知識の普及啓発とがん検診の受診を促進

職域におけるがん検診受診率向上のための取組み

- ① がん検診受診率向上出前セミナーの実施
企業が従業員を対象としたセミナーを開催する際に県が講師を派遣し、企業におけるがん対策の推進を図るもの。
- ② がん予防推進員による普及啓発
「がん対策の推進に関する協定」締結企業（19社）の社員を対象に、がん検診の重要性をPRするがん予防推進員を養成（令和5年4月時点763名）



I 予防の強化と早期発見の推進

女性がんの予防・早期発見に向けた普及啓発

① 施設のピンクライトアップ

- ・10月のピンクリボン月間に合わせて、県有施設等のピンクライトアップを実施予定

② 啓発活動

- ・10月のピンクリボン月間に併せて啓発物品や県作成リーフレット等を作成し、関係機関へ配布
- ・県ホームページや県SNSを活用した普及啓発



県立図書館とのコラボによるがんに関する展示



県立図書館で令和5年9月12日（火）～10月9日（日）に実施された「フレイル予防」の展示において、がんに関する展示として県作成のパンフレットや市町村作成の健（検）診カレンダーを展示し、がん検診受診促進に関する啓発を実施。

Ⅱ 質の高い医療の確保

富山県のがん診療体制の強化

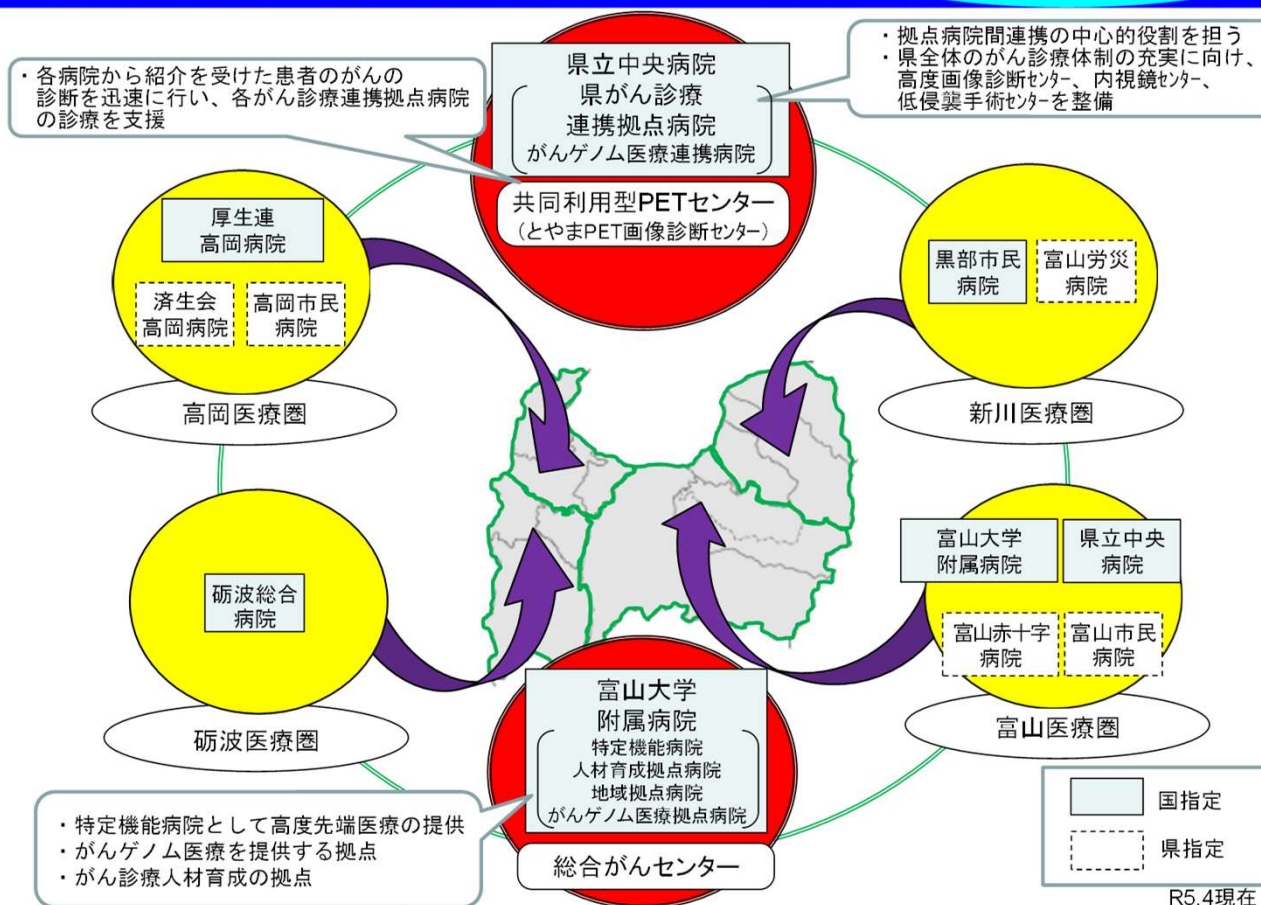
医療圏毎の医療機関が連携して、限られた医療資源及び機能を相互補完している。

具体的には、研修会の開催等の人材育成やがん情報の収集と発信等を始めとする患者支援体制の構築に複層的に取り組むことにより、県内の各病院の機能を“点”から“

富山県のがん診療体制

質の高い医療の確保

っている。



Ⅱ 質の高い医療の確保

がん医療を担う専門的な医療従事者の育成及び資質の向上

○認定看護師の育成支援

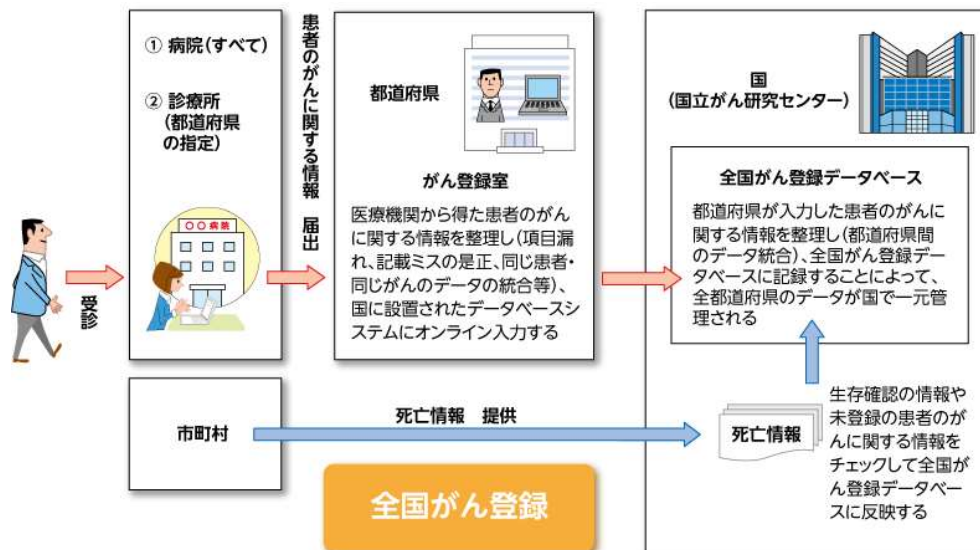
※県内のがん5分野における認定看護師数95名（R4.12月現在）

がんゲノム医療・免疫療法を含めた最新の医療技術への対応

○がんゲノム医療拠点病院：富山大学附属病院

○がんゲノム医療連携病院：富山県立中央病院

【2016年1月から開始した全国がん登録の仕組み】



調査・研究の推進

平成25年12月に公布された「がん登録等の推進に関する法律」に基づく「全国がん登録」※を平成28年1月1日から実施

※全ての病院及び申請に基づき県知事が指定した診療所において、がん罹患等に関する届出が必要となる制度

Ⅲ 患者支援体制の充実

富山県がん総合相談支援センターの運営

がんに関する様々な情報を提供する総合相談窓口として、がん患者及びその家族からの医療、心理、生活・介護、就労などの様々な相談に対応している。

- 業務：①相談：平日9時～16時 土13時～16時
- ②情報提供
- ③ピアサポーター養成・育成・活動支援
- ④患者等の交流支援 等
- 相談員：看護師により対応

小児・AYA世代の公開トークセッション

小児・AYA世代（思春期世代と若年成人世代）のがん患者支援のための公開トークセッションを開催

- ・日時：令和5年10月14日（土）14:00～16:00
- ・場所：富山県総合福祉会館 1階福祉ホール
- ・対象者：がん患者及び家族、治療にかかわる保健・医療・福祉関係者等
- ・内容：公開トークセッション

「知りたい・聴きたいがん患者さんの日常生活～がんになっても自分らしく～」

- ・コーディネーター：富山県立中央病院 医療局長 酒井 明人氏
- ・ゲスト：がん体験者 森田 裕子氏 がん体験者 亀田 依理子氏
富山産業保健総合センター 産業保健専門職（保健師）和田 瑞穂氏
富山市民病院 がん看護専門看護師 中井 尚美氏

Ⅲ 患者支援体制の充実

小児・AYA世代のがん患者等の妊孕性温存療法及び温存後生殖補助医療に係る治療費の助成

小児・AYA 世代のがん患者等について、一定の要件を満たした場合には妊孕性温存療法及び温存後生殖補助医療にかかる医療費の一部を助成

- ①妊孕性温存療法に係る医療費助成
- ②温存後生殖補助医療に係る医療費助成

■助成実績：令和4年度：15件

がん・生殖医療ネットワークの構築

①小児・AYA世代妊孕性温存部会の設置

県内の小児・AYA世代のがん患者の妊孕性温存療法等に対し、病院間のスムーズな連携による支援体制構築のため、県がん診療連携協議会にR4年度から「小児・AYA世代妊孕性温存部会」を設置

②がん・生殖医療ネットワーク推進研修会

小児・AYA 世代のがん患者等の妊孕性温存療法推進に関わる関係者への研修会を開催（富山大学附属病院へ委託）

- ・日時：令和4年7月11日（月）18：30～19：30
- ・場所：富山大学附属病院（ZOOMも併用したハイブリッド開催）
- ・出席者：小児・AYA世代のがん治療及び生殖医療に関わる医師、看護師及び相談支援担当者等 33名
- ・内容：講演「がん患者における妊孕性温存とネットワーク」
講師 島根大学医学部附属病院 先端がん治療センター・腫瘍内科教授 田村 研治 氏

Ⅲ 患者支援体制の充実

県内10か所のがん診療連携拠点病院における相談支援

- ① がん相談支援センター相談実績 6,529件(令和3年度)
- ② 長期療養者職業相談窓口の設置(富山労働局・ハローワーク)
富山労働局、ハローワーク富山及び砺波とがん診療連携拠点病院と協定を締結し、がん患者等の再就職を支援
○県立中央病院(平成28年7月～)、富山市立富山市民病院(平成29年3月～)、富山大学附属病院(平成30年10月～)、市立砺波総合病院(平成31年1月～)

産業保健総合支援センターと連携した就労支援

産業保健総合支援センターの両立支援員を講師として、がん対策出前セミナーを開催し、がん治療と仕事の両立に関する啓発を実施

治療と仕事の両立相談支援

- ・富山労働局の富山県地域両立支援チームに参画し、治療と仕事の両立支援に関する事業等について情報共有
- ・がん診療連携拠点病院のがん相談支援センター等とハローワークが連携し、治療と仕事の両立に関する相談支援を実施

Ⅲ 患者支援体制の充実

がん患者在宅療養支援体制整備事業

- ① がん患者の在宅療養支援のための事例検討会等の開催（厚生センター）
各医療圏毎において、在宅緩和ケア関係者により在宅がん患者の支援事例について、事例検討会を開催
- ② がん患者への相談支援の充実に向けた情報の発信
県内のがん情報をまとめ、県HPに掲載
(がん相談窓口、医療や介護等の各種制度、患者会情報、各種問い合わせ先等の情報を掲載)



乳がん患者活動支援事業

乳がん患者の方々を対象に、治療やがんの体験に基づく講演、交流会等を行い、患者や家族が前向きに病気と向き合っていくことを支援するもの

- ・日時：R4年 11月 27日（日）13:00～15:00
- ・内容：講演Ⅰ「大学病院での乳がん治療と栄養士の関わりについてー食事相談の実際ー」
講師：富山大学附属病院 栄養管理室 管理栄養士 吉田 明浩 先生
講演Ⅱ「がん治療におけるお食事・栄養管理のポイント」
講師：埼玉医科大学国際医療センター栄養部/NST 事務局 課長補佐 森 ひろみ 先生